

平成 21 年度(2009)の事業報告

I. エアロビックの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビック事業の推進

(1) 「第 22 回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビック大会」の開催

- ・生涯スポーツの祭典全国スポレク祭 2009 は宮崎県下で開催され、エアロビック大会は宮崎市のフェニックス・シーガイア・リゾート サンホテル国際会議場で 12 回目を開催した。
また、日韓スポーツ交流事業として韓国からの参加もあった。なお、大会の様子は NHK BS-2 の番組として放送された。

【期 間】 10 月 17 日(土)～19 日(月)の 3 日間

【会 場】 宮崎市 フェニックス・シーガイア・リゾート サンホテル国際会議場

【参加者】 35 都道府県及び韓国を含む総勢 46 チーム 252 名
(うち韓国は 3 チーム 15 名)

【放 送】 NHK BS-2 11 月 8 日(日)16:00～16:53

(2) 「エアロビック技能検定会」の開催

- ・日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビック技能検定会は、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- ・なお、技能検定会の醸成をはかるため、会員誌スマイルで継続して合格者名を掲載していくこととした。

平成 22 年度エアロビック検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|-----|-------|-------|-------|
| 10 | 26 | 25 | 24 |
| 9 | 69 | 68 | 67 |
| 8 | 190 | 162 | 121 |
| 7 | 301 | 254 | 212 |
| 6 | 379 | 317 | 315 |
| 5 | 336 | 203 | 203 |
| 4 | 234 | 149 | 149 |
| 3 | 85 | 35 | 35 |
| 2 | 31 | 18 | 18 |
| 1 | 22 | 13 | 13 |
| 合 計 | 1,673 | 1,244 | 1,157 |

平成 22 年度ジュニア検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|----|-------|-------|-------|
| 5 | 801 | 792 | 792 |
| 4 | 685 | 558 | 558 |
| 3 | 536 | 379 | 363 |
| 2 | 293 | 99 | 99 |
| 1 | 113 | 46 | 46 |
| 合計 | 2,428 | 1,874 | 1,858 |

通算受検者数 27,709 人

通算登録者数 19,097 人

(3)「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

「第11回アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2010」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2010」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

【主催】 神奈川県エアロビック連盟(共催)
【期 日】 2月11日(祝)、シンポジウム
3月7日(日)、エアロビック大会
【会 場】 横浜ラポール
【参加者】 シンポジウム26名、エアロビック大会39チーム397名

(財)ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

| | | | |
|-------|-----------|-------------------|----------|
| 群馬大会 | 5月30日(土) | 太田市新田総合体育館・エアリス | 参加者 403名 |
| 福岡大会 | 6月9日(火) | 福岡市民体育館 | 参加者 180名 |
| 栃木大会 | 6月13日(土) | 鹿沼市総合体育館フォレストアリーナ | 参加者 443名 |
| 北海道大会 | 6月23日(火) | 函館市総合福祉センター多目的ホール | 参加者 280名 |
| 神奈川大会 | 6月27日(土) | 秦野市総合体育館 | 参加者 467名 |
| 岡山大会 | 7月11日(土) | 倉敷市水島緑地福田公園体育館 | 参加者 788名 |
| 愛知大会 | 10月24日(土) | 名古屋市稲永スポーツセンター | 参加者 357名 |
| 兵庫大会 | 11月4日(水) | 姫路市中央体育館 | 順延 |
| 埼玉大会 | 11月7日(土) | 川越運動公園総合体育館 | 参加者 927名 |
| 青森大会 | 11月9日(月) | 新青森総合運動公園青い森アリーナ | 参加者 297名 |
| 静岡大会 | 11月14日(土) | 裾野市民体育館 | 順延 |
| 沖縄大会 | 2月17日(水) | うるま市具志川総合体育館 | 参加者 366名 |

(4)「きらきら Kids マナーエアロビック・第2回全国ビデオコンクール」の開催

- ・子どものココロとカラダの支援活動として、凸版印刷(株)の支援を得て「きらきら kids マナーエアロビック・第2回全国ビデオコンクール」を開催した。

【後 援】 文部科学省、(財)日本体育協会 他
【期 間】 7月~10月
【応募数】 66チーム(参加者2,678名)
【表 彰】 グランプリ(最優秀賞)3部門3チーム、優秀賞3部門3チーム、
入選3部門12チームを表彰

(5)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動である糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下記の6会場で協力して行った。

| | | | |
|-------|--------|------------------|----------|
| 横浜会場 | 10月4日 | 横浜ラポール メインアリーナ | 参加者 300名 |
| 埼玉会場 | 10月12日 | 与野体育館 | 参加者 120名 |
| 福岡会場 | 11月15日 | パピヨン21 ガスホール | 参加者 110名 |
| 仙台会場 | 11月23日 | サンフェスタ レセプションホール | 参加者 110名 |
| 大阪会場 | 12月13日 | 尼崎市記念公園総合体育館 | 参加者 100名 |
| 名古屋会場 | 12月20日 | 愛知学院大学歯学部体育館 | 参加者 110名 |

(6)フェスティバル・地域催事後援、指導者派遣等

- ・都道府県連盟および関係団体等が主催するフェスティバル、各種イベントへの後援名義ならびに

講師の派遣を行った。

【名義後援】 都道府県連盟、設立準備委員会、関係団体等 17件
【指導者派遣】 都道府県連盟イベント、NHK イベント等 6件

2. 競技エアロビック事業の推進

(1) 「スズキワールドカップ 2009・第20回世界エアロビック選手権大会」の開催

・世界の競技エアロビックの頂点を競うスズキワールドカップは20回目の記念大会を迎え、国際エアロビック連盟(IAF)と共催して開催した。

【期 日】 予選4月18日(土)、決勝4月19日(日)
【会 場】 東京体育館 メインアリーナ
【参 加】 19ヶ国、138名
【放 送】 NHK BS-1 4月25日(土)16:10~17:00

(2) 「スズキジャパンカップ 2009・第26回全日本エアロビック選手権大会」の開催

・国内の競技エアロビックの頂点を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第26回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。

<都道府県大会>

・4月~7月の期間に全国都道府県等において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

| | | | |
|---------|-----------|---------------|----------|
| 東北地区大会 | 9月20日(日) | 仙台市泉運動場総合体育館 | 出場者 100名 |
| 北海道地区大会 | 9月22日(祝) | きたえ~るメインアリーナ | 出場者 78名 |
| 中部地区大会 | 9月26日(土) | 中村スポーツセンター | 出場者 174名 |
| 西日本地区大会 | 10月10日(土) | なみはやドームサブアリーナ | 出場者 217名 |
| 九州地区大会 | 10月17日(土) | 九電記念体育館 | 出場者 138名 |
| 東日本地区大会 | 10月31日(土) | 東京体育館 | 出場者 214名 |

<全国大会>

【期 日】 11月1日(日)
【会 場】 東京体育館
【出場者】 188名 地区代表者数167名、前年度上位入賞シード15名、
ジャパンサーキットツアー男女トップ3シード6名
【放 送】 NHK 総合TV 11月7日(土)15:50~16:40

(3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2010」の開催

・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第5回大会を開催した。

・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催していることから6回大会以降の運営等について、検討をすすめた。

<予選大会>

シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2009」において行った。

チーム部門の予選を「SUZUKI PRESENTS JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門予選」として、静岡エアロビック連盟の主管で行った。

【主 管】 静岡県エアロビック連盟
【期 日】 12月26日(土)
【会 場】 浜松市アクトシティ中ホール
【参加者】 41チーム、297名

<全国大会>

【期 日】 1月23日(土)
【会 場】 静岡スタジアム、エコパアリーナ
【参加者】 317名

(4)「第9回全日本学生エアロビック選手権大会」の開催

- ・学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第9回大会を開催した。
- ・なお、本年度から高校の部を新設して、選手育成と競技会の拡大を図った。

【期 日】 11月29日(日)
【会 場】 日本工学院八王子専門学校 体育館(東京都八王子市)
【参加者】 大学(大学院)、短大、専門学校：27校、174名 高校：14校、22名

(5)「第5回全国フライト選手権大会」の開催

- ・「スポーツエアロビック2009」と全日本学生選手権大会のフライト部門上位者による第5回全国フライト選手権大会を開催した。

【期 日】 12月13日(日)
【会 場】 尼崎市記念公園総合体育館
【参加者】 286名

(6)「スポーツエアロビック2009」の開催

- ・エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック2009」を全国7地区で開催した。また、各種全国大会の予選会も兼ねて行った。

| | | | | |
|-------------|-----------|---------------|-----|------|
| 第1戦：宮城オープン | 5月3日(祝) | 泉総合運動場体育館 | 参加者 | 298名 |
| 第2戦：北海道オープン | 7月4日(土) | 北翔大学第1体育館 | 参加者 | 372名 |
| 第3戦：静岡オープン | 7月11日(土) | エコパアリーナ | 参加者 | 430名 |
| 第4戦：神奈川オープン | 9月5日(土) | 横浜文化体育館 | 参加者 | 620名 |
| 第5戦：鳥取オープン | 9月12日(土) | 三朝町総合スポーツセンター | 参加者 | 279名 |
| 第6戦：福岡オープン | 11月14日(土) | 九電記念体育館 | 参加者 | 393名 |
| 第7戦：兵庫オープン | 12月12日(土) | 尼崎市記念公園総合体育館 | 参加者 | 446名 |

【全国大会予選】

JOC ジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選
全国フライト・エアロビック選手権大会予選
全国フライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、13チーム、117名が参加。

(7)「メトロポリタンカップ2009」の開催

- ・首都圏のエアロビック普及を目的に「メトロポリタンカップ2009」を開催した。なお、本年度より2日間の開催となった。

【期 日】 7月19日(日)、20日(祝)
【会 場】 東京体育館サブアリーナ
【参加者】 583名

II. エアロビクの国際競技大会等に対する代表参加者の選定・派遣並びに外国からの役員等招聘

1. FIG ワールドシリーズ大会等への選手・審判員の派遣

- ・国際体操連盟(FIG)が主催する次のワールドシリーズ大会に選手・審判の派遣を行った。
 - 5月：ブルガリア(ソフィア)
 - 5月：フランス(シャンベリー)
 - 10月：ルーマニア(ティミソアラ)

2. 第8回ワールドゲームズ2009への選手・審判の派遣

- ・台湾高雄市で開催された第8回ワールドゲームズ2009に選手・審判の派遣を行った。
【期間】7月16日～26日(11日間)

III. エアロビクの講習会の開催及び指導者の育成

1. 公認エアロビク指導者養成事業の推進

(1) 公認スポーツ指導者に関する養成講習会の開催

- ・(財)日本体育協会と共催して行う公認スポーツ指導員(専門科目)養成講習会を次の通り開催した。

| | | | | | |
|------|----|------------|-----------|-----------|---------|
| 東京会場 | 前期 | 7月11日(土)～ | 7月12日(日) | 江戸川区総合体育館 | 受講者 25名 |
| | 後期 | 8月22日(土)～ | 8月23日(日) | | |
| 栃木会場 | 前期 | 9月22日(土)～ | 9月23日(日) | 鹿沼総合体育館 | 受講者 17名 |
| | 後期 | 11月22日(土)～ | 11月23日(日) | | |

(2) 専門科目の検定試験等の実施

- ・公認エアロビク指導員の検定試験を次の通り行った。

承認校における公認エアロビク指導員・教師専門科目(検定試験)

| | | | |
|-------|----------|---------------------|---------|
| 北海道会場 | 1月20日(水) | 専門学校北海道体育大学校 | 受検者 16名 |
| 岩手会場 | 2月6日(土) | 盛岡大学短期大学部 | 受検者 12名 |
| 富山会場 | | 富山健康科学専門学校 | 受検者 1名 |
| 大阪会場 | | 大阪社会体育専門学校 | 受検者 1名 |
| 東京会場 | 2月13日(土) | 東京スポーツ・レクリエーション専門学校 | 受検者 9名 |
| 愛知会場 | | 中京女子大学短期大学部 | 受検者 3名 |

() はビデオ審査による検定)

2. JAF 認定エアロビク指導者養成事業の推進

(1) 「JAF National Camp 2010」の開催

- ・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2010」を開催した。
昨年に引き続き、(財)日本体育協会の助成を受けて、指導専門委員を対象に「公認スポーツ指導者競技別講師全国研修会」を兼ねて行った。

| | | | |
|------|---------------------|-----------------|---------|
| 【期間】 | 2月23日(月)～28日(日) | | |
| 【会場】 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | | |
| 【内容】 | 2月26日～27日 | 指導専門委員中央研修会 | 受講者 37名 |
| | 2月23日 | TA中央研修会(プログラムA) | 受講者 65名 |
| | 2月24日 | TA中央研修会(プログラムB) | 受講者 94名 |

| | | |
|-----------|------------------|---------|
| 2月27日～28日 | TA新規養成講習会 | 受講者 23名 |
| 2月28日 | 審判員中央研修会 | 受講者 72名 |
| 2月25日～27日 | 審判員新規養成講習会 | 受講者 32名 |
| 2月23日 | 技能検定員中央研修会 | 受講者 43名 |
| 2月23日 | ジュニア技能検定員中央研修会 | 受講者 27名 |
| 2月26日 | ジュニア技能検定員新規養成講習会 | 受講者 5名 |
| 2月24日～25日 | 技能検定員移行講習会 | 受講者 14名 |
| 2月24日～26日 | 技能検定員新規養成講習会 | 受講者 7名 |
| 2月28日 | JAFエアロビックセミナー | 受講者 27名 |

(2) 「C級審判員養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-----------------|-----------|---------|
| 山梨会場 | 5月29日(金)～31日(日) | 山形県スポーツ会館 | 受講者 15名 |
|------|-----------------|-----------|---------|

(3) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-------------------|--------------|---------|
| 東京会場 | 6月20日(土)～6月21日(日) | 有明スポーツセンター | 受講者 20名 |
| 東京会場 | 9月16日(水)～17日(木) | 日本工学院八王子専門学校 | 受講者 34名 |
| 山梨会場 | 9月26日(土)～9月27日(日) | 山梨学院短期大学 | 受講生 23名 |

(4) 「テクニカル・アドバイザー(TA)養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-----------------|--------|---------|
| 大阪会場 | 8月22日(土)～23日(日) | 大阪国際大学 | 受講者 10名 |
|------|-----------------|--------|---------|

(5) 「アクアエアロビック指導員(種)養成講習会」の開催

| | | | |
|------|----------------|--------------|---------|
| 東京会場 | 9月2日(水)～3日(木) | 日本工学院八王子専門学校 | 受講者 40名 |
| 山梨会場 | 10月3日(土)～4日(日) | 山梨学院短期大学 | 受講者 21名 |

(6) 「ジュニア・エアロビック技能検定員養成講習会」の開催

| | | | |
|-------|-----------|----------------|---------|
| 鹿児島会場 | 11月22日(日) | 南学園鹿児島医療福祉専門学校 | 受講者 12名 |
|-------|-----------|----------------|---------|

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAFエアロビックセミナー」の開催

・JAF認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて行う、JAFエアロビックセミナーを開催した。

| | | | |
|-------|-----------|---------------|---------|
| 東京会場 | 7月11日(土) | 江戸川区総合体育館 | 受講生 20名 |
| 富山会場 | 7月19日(日) | 富山健康科学専門学校 | 受講生 18名 |
| 東京会場 | 11月23日(月) | 清島温水プール | 受講生 10名 |
| 静岡会場 | 12月5日(土) | 袋井市山名公民館 | 受講生 27名 |
| 福島会場 | 12月12日(土) | いわき市立学習プラザ | 受講生 15名 |
| 東京会場 | 2月28日(土) | 代々木オリンピックセンター | 受講生 27名 |
| 秋田会場 | 3月14日(土) | 秋田県立総合プール | 受講生 5名 |
| 長野会場 | 3月21日(土) | スポーツネットワークサム | 受講生 25名 |
| 北海道会場 | 3月22日(日) | 札幌中島体育センター | 受講生 12名 |

(は県連盟が主管して実施)

(2) 「審判員資格更新セミナー」の開催

| | | | |
|------|---------|--------|---------|
| 大阪会場 | 4月4日(土) | 大阪国際大学 | 受講者 16名 |
|------|---------|--------|---------|

(3) 「新ルール説明会」の開催

| | | | |
|------|---------|--------|---------|
| 大阪会場 | 4月4日(土) | 大阪国際大学 | 受講者 46名 |
|------|---------|--------|---------|

・競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

- ・競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国4地区で開催した。本年度より、競技間交流として(財)日本体操協会に講師派遣を依頼して行った。

| | | | |
|------|-----------------|--------------|----------|
| 大阪会場 | 11月22日(土) | 土佐堀Y M C A | 参加者 105名 |
| 東京会場 | 2月23日(火)～28日(月) | 国立オリンピックセンター | 参加者 165名 |
| 仙台会場 | 3月26日(金)～27日(土) | 仙台市泉総合運動場体育館 | 参加者 111名 |
| 福岡会場 | 3月13日(土)～14日(日) | 福岡大学 | 受講者 133名 |

2. 「チームジャパン合宿」の開催

- ・スズキワールドカップ2010の出場選手が参加して「チームジャパン合宿」を行った。

| | |
|-------|-------------------------|
| 【期間】 | 2月19日(金)～22日(月) |
| 【会場】 | 国立オリンピック記念青少年総合センター |
| 【参加者】 | 24名(一般11名、ユース13名、コーチ2名) |

・エアロビックの審判員の養成及びその資格の認定

1. 国際審判員養成講習会の開催

- ・国際体操連盟(FIG)の国際審判員養成講習会を行った。

| | |
|-------|-----------------|
| 【期間】 | 6月22日(月)～26日(金) |
| 【会場】 | NHK 青山荘(東京) |
| 【受講者】 | 29名 |

・各種関連団体との協調と連携

1. 競技力向上に関する研究(継続研究)

- ・サマーキャンプ、チームジャパン合宿等を通じて選手強化に関する研究をすすめた。

2. 生涯エアロビックに関する研究(継続研究)

- ・キッズジュニア指導員養成講習会・研修会等を通じて指導法に関する継続的に研究をすすめた。

3. アダプテッド・エアロビックに関する研究(継続研究)

- ・神奈川県エアロビック連盟の事業委託、ナイスハート基金「ふれあいスポーツ広場」への指導者派遣等を通じて継続的な研究をすすめた。

4. エアロビック・フィットネス協議会(AFC)との連携

- ・エアロビック・フィットネス界の発展を目的として2000年に設立。
2009年度も(社)日本フィットネス協会、アフア・ジャパンの主要団体と協力連携して次の事業を行った。

機関紙「AFC PRESS」の年4回の発行と編集協力
AFC設立10周年記念企画として「感動ストーリー」を募集

・広報活動の推進

1. NHK 定時番組等の制作協力

定時番組「BS エアロビック」の制作協力

- ・1998年にスタートしたNHKBS-2の定時番組「BS エアロビック」の制作協力を本年も継続して行った。

【出演者】 吉田知子・本間友暁・田中小夜子

【放送】 NHK BS-2 4月より月曜日～木曜日 午前9:50～10:00(10分番組)

定時番組「ドゥ!エアロビック」の制作協力

- ・2003年10月にスタートした全国各地の街や職場を紹介し、参加者と一緒にエアロビックを楽しむ公開収録によるNHKBS-2の定時番組「ドゥ!エアロビック」の制作協力を行った。

【放送】 毎週日曜日、NHK BS-2 午前6:30～6:54(24分番組)

【内容】 全国各地を訪問する公開収録形式

【出演者】 知念かおる他

2. JAF 会員誌『スマイル』の発行

- ・本連盟会員のための情報誌として1998年7月に創刊。本年も年4回発行した。

| | | |
|-----|---------|-----------|
| 44号 | 4月1日発行 | 各5,000部発行 |
| 45号 | 7月1日発行 | |
| 46号 | 10月1日発行 | |
| 47号 | 1月1日発行 | |

・その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. 都道府県連盟の加盟状況

- ・2009年度末の都道府県連盟の加盟数は、次の通りとなった。

【正加盟】 27都府県

【準加盟】 8県

【設立準備委員会】 5県 新潟、愛媛、大分、鹿児島、沖縄
未組織は7府県(京都、奈良、和歌山、徳島、高知、島根、佐賀)

2. 賛助会員(法人・個人・サークル)の推進

- ・2009年度末の、法人賛助会員、個人賛助会員の実績は、次の通りとなった。

【法人賛助会員】 66社 (企業関係57、学校関係9)

【個人賛助会員】 1,789人

3. 選手登録の推進

- ・2009年度末の選手登録実績は、次の通りとなった。

【選手登録数】 2,965人

4. 競技登録クラブの推進

- ・2009年度末の「JAF 競技登録クラブ」の登録数は、次の通りとなった。

【競技登録クラブ】 41クラブ

以上

平成21年度 決算報告書

平成21年 4月 1日から
平成22年 3月31日まで

1. 財務諸表

- (1) 貸借対照表
- (2) 正味財産増減計算書
- (3) 財産目録

2. 収支計算書

- (1) 収支計算書

社団法人日本エアロビック連盟

貸借対照表
平成 22年 3月 31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|--------------|--------------|--------------|
| 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 116,505,443 | 109,973,033 | 6,532,410 |
| 売掛金 | 200,200 | 694,850 | -494,650 |
| 商品 | 989,250 | 2,934,254 | -1,945,004 |
| 貯蔵品 | 2,181,494 | - | 2,181,494 |
| 立替金 | - | 66,392 | -66,392 |
| 未収入金 | 2,766,235 | 2,216,500 | 549,735 |
| 仮払金 | - | 100,000 | -100,000 |
| 前払費用 | 2,564,779 | 1,739,577 | 825,202 |
| 流動資産合計 | 125,207,401 | 117,724,606 | 7,482,795 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 基本財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 3,614,240 | 4,801,221 | -1,186,981 |
| 大会運営積立資産 | 50,000,000 | - | 50,000,000 |
| 特定資産合計 | 53,614,240 | 4,801,221 | 48,813,019 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物附属設備 | 8,974 | 13,459 | -4,485 |
| 什器備品 | 1,363,248 | 1,422,624 | -59,376 |
| 電話加入権 | 291,200 | 291,200 | - |
| ソフトウェア | 2,561,148 | 3,542,868 | -981,720 |
| 出資金 | - | 100,000 | -100,000 |
| 保証金 | 2,667,600 | 7,209,900 | -4,542,300 |
| 長期前払費用 | 711,978 | 2,224,710 | -1,512,732 |
| その他固定資産合計 | 7,604,148 | 14,804,761 | -7,200,613 |
| 固定資産合計 | 81,218,388 | 39,605,982 | 41,612,406 |
| 資産合計 | 206,425,789 | 157,330,588 | 49,095,201 |
| 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 5,669,306 | 6,240,475 | -571,169 |
| 未払費用 | 2,836,219 | 4,225,884 | -1,389,665 |
| 前受金 | 4,861,229 | 3,895,318 | 965,911 |
| 仮受金 | - | 5,500 | -5,500 |
| 預り金 | 9,659,733 | 3,132,985 | 6,526,748 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 70,000 | - |
| 未払消費税等 | 3,337,700 | 2,336,000 | 1,001,700 |
| 流動負債合計 | 26,434,187 | 19,906,162 | 6,528,025 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 3,614,240 | 2,509,674 | 1,104,566 |
| 固定負債合計 | 3,614,240 | 2,509,674 | 1,104,566 |
| 負債合計 | 30,048,427 | 22,415,836 | 7,632,591 |
| 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 寄付金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (うち基本財産への充当額) | (20,000,000) | (20,000,000) | (-) |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| (うち特定資産への充当額) | 156,377,362 | 114,914,752 | 41,462,610 |
| (うち特定資産への充当額) | (50,000,000) | (4,801,221) | (45,198,779) |
| 正味財産合計 | 176,377,362 | 134,914,752 | 41,462,610 |
| 負債及び正味財産合計 | 206,425,789 | 157,330,588 | 49,095,201 |

正味財産増減計算書

平成21年 4月 1日から平成22年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 30,820 | 70,136 | -39,316 |
| 基本財産受取利息 | 30,820 | 70,136 | -39,316 |
| 特定資産運用益 | 10,949 | - | 10,949 |
| 特定資産受取利息 | 10,949 | - | 10,949 |
| 受取会費 | 19,103,751 | 10,978,904 | 8,124,847 |
| 正会員受取会費 | 2,500,000 | 50,000 | 2,450,000 |
| 賛助会員受取会費 | 13,095,200 | 8,748,000 | 4,347,200 |
| 登録クラブ受取会費 | 2,460,000 | 2,100,001 | 359,999 |
| 国際加盟費受取会費 | 1,048,551 | 80,903 | 967,648 |
| 事業収益 | 256,254,906 | 304,875,557 | -48,620,651 |
| 競技会事業収益 | 188,506,425 | 233,792,989 | -45,286,564 |
| 認定登録事業収益 | 10,623,585 | 13,696,153 | -3,072,568 |
| 講習会等事業収益 | 52,543,048 | 49,683,764 | 2,859,284 |
| 商品売上事業収益 | 4,581,848 | 5,107,051 | -525,203 |
| 賃貸事業収益 | - | 2,595,600 | -2,595,600 |
| 受取補助金等 | 4,538,295 | 3,597,900 | 940,395 |
| 受取民間助成金 | 4,538,295 | 3,597,900 | 940,395 |
| 雑収益 | 1,777,259 | 3,238,204 | -1,460,945 |
| 受取利息 | 57,673 | 89,453 | -31,780 |
| 受取配当金 | 6,000 | - | 6,000 |
| 雑収益 | 1,713,586 | 3,148,751 | -1,435,165 |
| 経常収益計 | 281,715,980 | 322,760,701 | -41,044,721 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 期首商品棚卸高 | 2,934,254 | 1,843,427 | 1,090,827 |
| 商品仕入高 | 925,221 | 2,909,514 | -1,984,293 |
| 期末商品棚卸高 | -2,012,290 | -2,934,254 | 921,964 |
| 普及・指導 | 16,979,394 | 19,784,709 | -2,805,315 |
| 競技会 | 91,214,079 | 141,517,933 | -50,303,854 |
| 講習会・指導者育成 | 10,121,080 | 5,550,798 | 4,570,282 |
| 給料手当 | 50,706,712 | - | 50,706,712 |
| 退職給付費用 | 735,068 | - | 735,068 |
| 法定福利費 | 7,276,863 | - | 7,276,863 |
| 福利厚生費 | 141,248 | - | 141,248 |
| 広告宣伝費 | 2,209,762 | - | 2,209,762 |
| 接待交際費 | 325,140 | - | 325,140 |
| 会議費 | 34,313 | - | 34,313 |
| 旅費交通費 | 2,183,284 | - | 2,183,284 |
| 出張手当 | 57,625 | - | 57,625 |
| 通信運搬費 | 2,466,240 | - | 2,466,240 |
| 消耗品費 | 1,626,405 | - | 1,626,405 |
| 修繕費 | 1,411,476 | - | 1,411,476 |
| 賃借料 | 664,357 | - | 664,357 |
| 事務所賃借料 | 5,853,521 | - | 5,853,521 |
| 保険料 | 243,404 | - | 243,404 |
| 租税公課 | 2,000 | - | 2,000 |
| 雑費 | 4,299,283 | - | 4,299,283 |
| 事業費計 | 200,398,439 | 168,672,127 | 31,726,312 |

正味財産増減計算書

平成 21年 4月 1日から平成 22年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 管理費 | | | |
| 給料手当 | 16,800,000 | 54,764,031 | -37,964,031 |
| 退職給付費用 | 1,400,000 | 187,500 | 1,212,500 |
| 法定福利費 | 1,965,810 | 7,497,501 | -5,531,691 |
| 福利厚生費 | 88,456 | 159,835 | -71,379 |
| 接待交際費 | 376,118 | 982,180 | -606,062 |
| 会議費 | 129,658 | 400,871 | -271,213 |
| 旅費交通費 | 1,126,323 | 3,598,472 | -2,472,149 |
| 出張手当 | 91,027 | 243,076 | -152,049 |
| 通信運搬費 | 552,221 | 3,974,824 | -3,422,603 |
| 減価償却費 | 3,214,517 | 4,611,635 | -1,397,118 |
| 消耗品費 | 527,579 | 1,052,389 | -524,810 |
| 修繕費 | 325,725 | 47,000 | 278,725 |
| 賃借料 | 297,556 | 1,153,600 | -856,044 |
| 事務所賃借料 | 1,346,118 | 11,911,703 | -10,565,585 |
| 保険料 | 40,700 | 547,523 | -506,823 |
| 租税公課 | 583,113 | 29,300 | 553,813 |
| 雑費 | 9,860,335 | 14,017,309 | -4,156,974 |
| 管理費計 | 38,725,256 | 105,178,749 | -66,453,493 |
| 経常費用計 | 239,123,695 | 273,850,876 | -34,727,181 |
| 当期経常増減額 | 42,592,285 | 48,909,825 | -6,317,540 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 退職給付引当金戻入 | - | 187,500 | -187,500 |
| 経常外収益計 | - | 187,500 | -187,500 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 退職給付引当金繰入 | - | 1,834,847 | -1,834,847 |
| 雑損失 | - | 591 | -591 |
| 什器備品除却損 | 36,635 | - | 36,635 |
| 棚卸商品減耗損 | 1,023,040 | - | 1,023,040 |
| 経常外費用計 | 1,059,675 | 1,835,438 | -775,763 |
| 当期経常外増減額 | -1,059,675 | -1,647,938 | 588,263 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 41,532,610 | 47,261,887 | -5,729,277 |
| 法人税等 | 70,000 | 70,000 | - |
| 当期一般正味財産増減額 | 41,462,610 | 47,191,887 | -5,729,277 |
| 一般正味財産期首残高 | 114,914,752 | 67,722,865 | 47,191,887 |
| 一般正味財産期末残高 | 156,377,362 | 114,914,752 | 41,462,610 |
| 指定正味財産増減の部 | | | |
| 基本財産運用収入 | - | 70,136 | -70,136 |
| 一般正味財産への振替額 | - | -70,136 | 70,136 |
| 当期指定正味財産増減額 | - | - | - |
| 指定正味財産期首残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産期末残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 正味財産期末残高 | 176,377,362 | 134,914,752 | 41,462,610 |

財産目録
平成 22年 3月 31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | |
|-------------|---|-------------|
| .資産の部 | | |
| 1.流動資産 | | |
| 現金預金 | | |
| 現金 | 現金手許有高 | 598,595 |
| 普通預金 | みずほ銀行 祐天寺支店 | 110,985,801 |
| | 川崎信用金庫 宮前平支店 | 433,533 |
| | 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 2,238,826 |
| 郵便振替 | ゆうちょ銀行 品川支店 | 206,833 |
| 定期預金 | 川崎信用金庫 宮前平支店 | 2,041,855 |
| 売掛金 | 25周年書籍他 | 200,200 |
| 商品 | ��Tｼｼﾞ@1,646*196枚 技能検定曲CD@2,205*101枚 JAFｲﾝﾌﾟﾚﾑ@6,300*28枚 25周年書籍@1,575*42冊 ｽﾌﾞ-ｼﾞｱﾌﾞｯｸ規定曲集@770*66枚 技Tｼｼﾞ@1,266*31枚 きらきら書籍@1,109*34冊 きらきらDVD&CD@1,889*22枚 わくわくCD@486*15枚 わくわくDVD@911*2本 競技ﾙｰﾃﾞﾝ採点事例ｼﾞｯﾄ@600*50枚 審判員試験問題集683*3冊 | 989,250 |
| 貯蔵品 | 切手類67,098 教材関係2,114,396 | 2,181,494 |
| 未収入金 | 21年度公認ｽﾌﾞ-ｼﾞ指導員・教師登録料他 | 2,766,235 |
| 前払費用 | 平成22年度諸経費 | 2,564,779 |
| | 流動資産合計 | 125,207,401 |
| 2.固定資産 | | |
| (1)基本財産 | | |
| 定期預金 | 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 20,000,000 |
| | 基本財産合計 | 20,000,000 |
| (2)特定資産 | | |
| 退職給付引当資産 | 定期預金 川崎信用金庫 宮前平支店 | 358,145 |
| | 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 1,200,000 |
| | 定期積金 みずほ銀行 祐天寺支店 | 2,056,095 |
| 大会運営特定資産 | 定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 30,000,000 |
| | みずほ銀行 祐天寺支店 | 20,000,000 |
| | 特定資産合計 | 53,614,240 |
| (3)その他の固定資産 | | |
| 建物付属設備 | 可動間仕切り ｲﾌｴﾑ総研 4,151 可動間仕切り 櫛ﾊﾝﾃｯｸ 4,823 | 8,974 |
| 什器備品 | ｲﾌﾞｯｸﾌﾟﾚｯｼﾞH11年度 94,003 ｲﾌﾞｯｸﾌﾟﾚｯｼﾞH12年度 119,603 ｲﾌﾞｯｸﾌﾟﾚｯｼﾞH16年度 360,001 ﾊﾞﾝｺﾝ 504,452、ﾊﾞﾝｺﾝｻｰﾊﾞｰ 139,167 ﾙｰﾀｰ 96,688、ﾌﾟﾘﾝﾀｰ 49,334 | 1,363,248 |
| 電話加入権 | 03-5796-7521他 | 291,200 |
| ソフトウェア | 会員管理ｼｽﾃﾑ 1,092,500、会計ｼﾌﾄ 27,814 集計ｼｽﾃﾑ 1,057,500、選手登録ｼｽﾃﾑ 383,334 | 2,561,148 |
| 保証金 | 市川庄次 2,667,600 | 2,667,600 |
| 長期前払費用 | 競技採点規則 570,282 検定ﾊｯｼﾞ 56,043、Jr検定ﾊｯｼﾞ 37,807 検定会ｼｽﾃﾑﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸ 37,846 日本体操協会入会金 10,000 | 711,978 |
| | その他の固定資産合計 | 7,604,148 |
| | 固定資産合計 | 81,218,388 |
| | 資産合計 | 206,425,789 |
| .負債の部 | | |
| 1.流動負債 | | |
| 未払金 | 事業関係経費他 | 5,669,306 |
| 未払費用 | 従業員給与・社会保険他 | 2,836,219 |
| 前受金 | 22年度協賛金他 | 4,861,229 |
| 預り金 | FIGﾌﾞﾗﾝｽ大会Air代、源泉所得税他 | 9,659,733 |
| 未払法人税等 | | 70,000 |
| 未払消費税等 | | 3,337,700 |
| | 流動負債合計 | 26,434,187 |
| 2.固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | | 3,614,240 |
| | 固定負債合計 | 3,614,240 |
| | 負債合計 | 30,048,427 |
| | 正味財産 | 176,377,362 |

収支計算書

自平成21年4月1日至平成22年3月31日

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------|
| 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| 基本財産運用収入 | 40,000 | 30,820 | 9,180 | |
| 基本財産利息収入 | 40,000 | 30,820 | 9,180 | |
| 特定資産運用収入 | - | 10,949 | -10,949 | |
| 特定資産利息収入 | - | 10,949 | -10,949 | |
| 会費収入 | 21,820,000 | 19,103,751 | 2,716,249 | |
| 正会員会費収入 | 3,250,000 | 2,500,000 | 750,000 | |
| 賛助会員会費収入 | 14,390,000 | 13,095,200 | 1,294,800 | 個人賛助会員増 |
| 登録クラブ会費収入 | 2,280,000 | 2,460,000 | -180,000 | |
| 国際加盟費収入 | 1,900,000 | 1,048,551 | 851,449 | |
| 事業収入 | 237,382,000 | 256,254,906 | -18,872,906 | |
| 競技会収入 | 179,628,000 | 188,506,425 | -8,878,425 | 協賛金収入増 |
| 認定・登録料収入 | 13,204,000 | 10,623,585 | 2,580,415 | 選手登録料の徴収廃止 |
| 講習会等収入 | 40,050,000 | 52,543,048 | -12,493,048 | NC、FIG等講習会収入増 |
| 商品売上収入 | 4,500,000 | 4,581,848 | -81,848 | |
| 補助金等収入 | 7,305,000 | 4,538,295 | 2,766,705 | |
| 民間助成金収入 | 7,305,000 | 4,538,295 | 2,766,705 | 文部科学省委託事業減 |
| 雑収入 | 1,055,000 | 1,777,259 | -722,259 | |
| 受取利息 | 55,000 | 57,673 | -2,673 | |
| 受取配当金 | - | 6,000 | -6,000 | |
| 雑収入 | 1,000,000 | 1,713,586 | -713,586 | |
| 事業活動収入計 | 267,602,000 | 281,715,980 | -14,113,980 | |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| 事業費支出 | 210,798,000 | 201,939,983 | 8,858,017 | |
| 商品仕入高支出 | 2,000,000 | 925,221 | 1,074,779 | 制作物の減 |
| 普及・指導支出 | 17,265,000 | 17,981,866 | -716,866 | |
| 競技会支出 | 98,176,000 | 91,214,079 | 6,961,921 | 大会制作費減 |
| 講習会・指導者育成支出 | 6,876,000 | 10,357,304 | -3,481,304 | FIG講習会費用増 |
| 給料手当支出 | 53,512,000 | 50,706,712 | 2,805,288 | 職員退職に伴う減 |
| 退職給付費用支出 | 960,000 | 1,030,502 | -70,502 | |
| 法定福利費支出 | 8,737,000 | 7,276,863 | 1,460,137 | 職員退職に伴う減 |
| 福利厚生費支出 | 225,000 | 141,248 | 83,752 | |
| 広告宣伝費支出 | - | 2,209,762 | -2,209,762 | ホームページの全面改定 |
| 接待交際費支出 | 592,000 | 325,140 | 266,860 | |
| 会議費支出 | 417,000 | 34,313 | 382,687 | |
| 旅費交通費支出 | 2,780,000 | 2,183,284 | 596,716 | |
| 出張手当支出 | 196,000 | 57,625 | 138,375 | |
| 通信運搬費支出 | 3,832,000 | 2,493,110 | 1,338,890 | 運搬方法見直しによる減 |
| 消耗品費支出 | 1,489,000 | 2,502,105 | -1,013,105 | |
| 修繕費支出 | 833,000 | 1,411,476 | -578,476 | |
| 賃借料支出 | 750,000 | 664,357 | 85,643 | |
| 事務所賃借料支出 | 7,058,000 | 5,853,521 | 1,204,479 | 事務所移転に伴う減 |
| 保険料支出 | 125,000 | 243,404 | -118,404 | |
| 租税公課支出 | 28,000 | 2,000 | 26,000 | |
| 雑費支出 | 4,947,000 | 4,326,091 | 620,909 | |
| 管理費支出 | 31,756,000 | 34,124,159 | -2,368,159 | |
| 給料手当支出 | 16,800,000 | 16,800,000 | - | |
| 法定福利費支出 | 1,959,000 | 1,965,810 | -6,810 | |
| 福利厚生費支出 | 45,000 | 88,456 | -43,456 | |
| 接待交際費支出 | 118,000 | 376,118 | -258,118 | |
| 会議費支出 | 83,000 | 129,658 | -46,658 | |
| 旅費交通費支出 | 1,179,000 | 1,126,323 | 52,677 | |
| 出張手当支出 | 39,000 | 91,027 | -52,027 | |
| 通信運搬費支出 | 766,000 | 558,939 | 207,061 | |
| 消耗品費支出 | 298,000 | 527,579 | -229,579 | |
| 修繕費支出 | 167,000 | 325,725 | -158,725 | |
| 賃借料支出 | 150,000 | 297,556 | -147,556 | |
| 事務所賃借料支出 | 1,412,000 | 1,346,118 | 65,882 | |
| 保険料支出 | 25,000 | 40,700 | -15,700 | |
| 租税公課支出 | 6,000 | 583,113 | -577,113 | |
| 雑費支出 | 8,709,000 | 9,867,037 | -1,158,037 | 事務所移転に伴う増 |
| その他事業活動支出 | - | 70,000 | -70,000 | |
| 法人税等支出 | - | 70,000 | -70,000 | |
| 事業活動支出計 | 242,554,000 | 236,134,142 | 6,419,858 | |
| 事業活動収支差額 | 25,048,000 | 45,581,838 | -20,533,838 | |

収支計算書

自 平成 21年 4月 1日 至 平成 22年 3月 31日

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|----------|
| 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 敷金・保証金戻り収入 | - | 4,642,300 | -4,642,300 | |
| 出資金戻り収入 | - | 100,000 | -100,000 | |
| 保証金戻り収入 | - | 4,542,300 | -4,542,300 | 旧事務所の保証金 |
| 特定資産取崩収入 | - | 2,041,855 | -2,041,855 | |
| 退職給付引当資産取崩収入 | - | 2,041,855 | -2,041,855 | |
| 投資活動収入計 | - | 6,684,155 | -6,684,155 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| 特定資産取得支出 | - | 50,854,874 | -50,854,874 | |
| 退職給付引当資産取得支出 | - | 854,874 | -854,874 | |
| 大会運営積立資産取得支出 | - | 50,000,000 | -50,000,000 | 公益目的保有財産 |
| 固定資産取得支出 | 2,000,000 | 692,839 | 1,307,161 | |
| 什器備品取得支出 | 1,000,000 | 692,839 | 307,161 | |
| 繰延資産取得支出 | 1,000,000 | - | 1,000,000 | |
| 投資活動支出計 | 2,000,000 | 51,547,713 | -49,547,713 | |
| 投資活動収支差額 | -2,000,000 | -44,863,558 | 42,863,558 | |
| 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | | |
| 借入金収入 | 30,000,000 | - | 30,000,000 | |
| 短期借入金収入 | 30,000,000 | - | 30,000,000 | |
| 財務活動収入計 | 30,000,000 | - | 30,000,000 | |
| 2. 財務活動支出 | | | | |
| 借入金返済支出 | 30,000,000 | - | 30,000,000 | |
| 短期借入金支出 | 30,000,000 | - | 30,000,000 | |
| 財務活動支出計 | 30,000,000 | - | 30,000,000 | |
| 財務活動収支差額 | - | - | - | |
| 予備費支出 | 8,000,000 | - | 8,000,000 | (注) |
| 当期収支差額 | 15,048,000 | 718,280 | 14,329,720 | |
| 前期繰越収支差額 | 100,000,000 | 94,884,190 | 5,115,810 | |
| 次期繰越収支差額 | 115,048,000 | 95,602,470 | 19,445,530 | |

(注) 予備費は事業活動支出に充当使用した額である。

平成 22 年度 事業報告書

平成 22 年 4 月 1 日から

平成 23 年 3 月 31 日まで

社団法人 日本エアロビック連盟

平成 22 年度(2010)の事業報告

・エアロビックの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビック事業の推進

(1) 「第 23 回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビック大会」の開催

- ・生涯スポーツの祭典全国スポレク祭 2010 は富山県下で開催され、エアロビック大会は県東部に位置する上市町の丸山総合公園総合体育館で 13 回目を開催した。

また、日韓スポーツ交流事業として韓国からの参加もあり、大会の様子は NHK BS2 の定時番組「ドゥ！エアロビック」で 2 週にわたって全国放送された。

【期 間】 10 月 17 日(日)～18 日(月)の 2 日間

【会 場】 富山県中新川郡上市町 丸山総合公園総合体育館

【参加者】 39 チーム 205 名(うち韓国 3 チーム 15 名)

【放 送】 NHK BS2 「ドゥ！エアロビック」11 月 18 日(木)、25 日(木)

再放送:11 月 21 日(日)、28 日(日)

(2) 「エアロビック技能検定会」の開催

- ・日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビック技能検定会は、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。

- ・なお、技能検定会の醸成をはかるため、会員誌スマイルで継続して合格者名を掲載していくこととした。

平成 22 年度エアロビック検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|-----|-------|-------|-------|
| 10 | 104 | 102 | 64 |
| 9 | 37 | 36 | 36 |
| 8 | 242 | 234 | 211 |
| 7 | 220 | 199 | 183 |
| 6 | 434 | 389 | 388 |
| 5 | 245 | 141 | 139 |
| 4 | 178 | 94 | 94 |
| 3 | 134 | 50 | 49 |
| 2 | 39 | 19 | 19 |
| 1 | 6 | 5 | 5 |
| 合 計 | 1,639 | 1,269 | 1,188 |

平成 22 年度ジュニア検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|----|-------|-------|-------|
| 5 | 671 | 638 | 637 |
| 4 | 708 | 565 | 565 |
| 3 | 552 | 344 | 329 |
| 2 | 317 | 109 | 109 |
| 1 | 120 | 38 | 38 |
| 合計 | 2,368 | 1,694 | 1,678 |

通算受検者数 31,716 人

通算登録者数 21,963 人

(3) 「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

「第 12 回アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2011」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2011」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

なお、エアロビック大会は震災の影響により5月5日(祝)に変更して開催した。

- 【主催】 神奈川県エアロビック連盟(共催)
【期 日】 2月19日(土)、シンポジウム
5月5日(祝)、エアロビック大会
【会 場】 横浜ラポール
【参加者】 シンポジウム30名、エアロビック大会20チーム201名

(財)ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

| | | | |
|------|-----------|----------------|----------|
| 福島大会 | 5月15日(土) | 須賀川アリーナ | 参加者 273名 |
| 栃木大会 | 5月22日(土) | 白鷗大学体育館 | 参加者 626名 |
| 大分大会 | 5月26日(水) | 南大分体育館 | 参加者 295名 |
| 岩手大会 | 5月29日(土) | 盛岡体育館 | 参加者 298名 |
| 岐阜大会 | 6月2日(水) | わかくさ・プラザ | 参加者 214名 |
| 香川大会 | 6月2日(水) | 高松市西部運動センター体育館 | 参加者 440名 |
| 山口大会 | 6月20日(日) | 防府市武道館 | 参加者 472名 |
| 熊本大会 | 10月9日(土) | 大津町運動公園総合体育館 | 参加者 458名 |
| 茨城大会 | 10月23日(土) | つくば市桜総合体育館 | 参加者 290名 |
| 愛知大会 | 10月23日(土) | つどいの丘・アリーナ | 参加者 180名 |
| 静岡大会 | 11月6日(土) | 裾野市民体育館 | 参加者 411名 |
| 大阪大会 | 11月10日(水) | 大阪府立体育会館 | 参加者 463名 |

(4)「きらきら Kids マナーエアロビック・第3回全国ビデオコンクール」の開催

- ・子どものココロとカラダの支援活動として、凸版印刷(株)の支援を得て「きらきら kids マナーエアロビック・第3回全国ビデオコンクール」を開催した。

- 【後 援】 文部科学省、(財)日本体育協会 他
【期 間】 7月～10月
【応募数】 77チーム(参加者4,254名)
【表 彰】 グランプリ(最優秀賞)3部門3チーム、優秀賞3部門3チーム、
入選3部門9チーム、審査員特別賞1チームを表彰

(5)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動として糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下記の6会場で協力して行った。

| | | | |
|------|-----------|----------------|----------|
| 横浜会場 | 9月4日(土) | 北翔大学ポルトホール | 参加者 60名 |
| 岐阜会場 | 10月16日(土) | じゅうろくプラザ2Fホール | 参加者 70名 |
| 横浜会場 | 10月24日(日) | 大さん橋ホール | 参加者 90名 |
| 京都会場 | 10月31日(日) | KBSホール | 参加者 40名 |
| 広島会場 | 11月3日(水) | 広島県立総合体育館剣道場 | 参加者 100名 |
| 東京会場 | 11月23日(火) | 都立産業貿易センター浜松町館 | 参加者 80名 |

2. 競技エアロビック事業の推進

- (1) 「スズキワールドカップ 2010・第21回世界エアロビック選手権大会」の開催
2010年度は「SUZUKI WORLD CUP 2010第21回世界エアロビック選手権大会」に「FIGワールドシリーズ東京国際」を併設して、国際エアロビック連盟(IAF)、国際体操連盟(FIG)と共同で開催した。

【期 日】 予選 4月17日(土)、決勝 4月18日(日)
【会 場】 東京体育館 メインアリーナ
【参 加】 19の国と地域、213名
【放 送】 NHK BS-1 4月24日(土) 16:00~16:50

- (2) 「スズキジャパンカップ 2010 第27回全日本エアロビック選手権大会」の開催
・国内の競技エアロビックの頂点を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第27回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。

<都道府県大会>

・4月~7月の期間に全国都道府県等において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

| | | | |
|---------|----------|----------------|----------|
| 中部地区大会 | 9月12日(日) | 中村スポーツセンター | 出場者 186名 |
| 北海道地区大会 | 9月20日(祝) | 北海きたえ~るメインアリーナ | 出場者 71名 |
| 東北地区大会 | 9月23日(祝) | 仙台市若林体育館 | 出場者 101名 |
| 九州地区大会 | 10月2日(土) | 九電記念体育館 | 出場者 140名 |
| 西日本地区大会 | 10月9日(土) | なみはやドームサブアリーナ | 出場者 206名 |
| 東日本地区大会 | 11月6日(土) | 東京体育館 | 出場者 211名 |

<全国大会>

【期 日】 11月7日(日)
【会 場】 東京体育館
【出場者】 192名
【放 送】 NHK 総合TV 11月13日(土) 16:00~17:00

- (3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2011」の開催
・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第6回大会を開催した。

・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催することから、袋井市をはじめ袋井市内の関係団体と実行委員会を組織して、開催準備と運営等をすすめた。

<予選大会>

・シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2010」において行った。
・チーム部門及びAG1 グループ部門の予選を「JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門・グループ部門予選」として前日に行った。

【期 日】 1月22日(土)
【会 場】 エコパアリーナ
【参加者】 チーム 32チーム、336名 / グループ 5チーム 30名

<全国大会>

【期 日】 1月23日(日)
【会 場】 静岡スタジアム、エコパアリーナ
【参加者】 329名

(4)「第10回全日本学生エアロビック選手権大会」の開催

- ・学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第10回大会を開催した。今回は「第26回ユニバーシアード」の日本代表選手選考会を兼ねて行った。
- ・高校の部を今年から「全日本高等学校エアロビック選手権大会」として併設して開催した。

【期 日】 12月5日(日)
【会 場】 日本工学院八王子専門学校 体育館(東京都八王子市)
【参加者】 大学(大学院)、短大、専門学校:27校、177名 高校、高専:29校、45名

(5)「第6回全国フライト選手権大会」の開催

- ・「スポーツエアロビック2010」と全日本学生選手権大会のフライト部門上位者による第6回全国フライト選手権大会を開催した。

【期 日】 12月26日(日)
【会 場】 ベイコム総合体育館
【参加者】 339名

(6)「スポーツエアロビック2010」の開催

- ・エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック2010」を全国9地区で開催した。また、各種全国大会の予選会も兼ねて行った。
- ・本年度より、原則2日間開催として規模の拡大と充実を図った。

| | | | |
|---------|-------------------|-----------|----------|
| 宮城オープン | 5月2日(日)フライト | 泉総合運動場体育館 | 参加者 207名 |
| | 5月3日(祝) 競技ルーティン | | 参加者 83名 |
| 大阪オープン | 5月28日(土)フライト | 大阪市中央体育館 | 参加者 331名 |
| 静岡オープン | 6月26日(土)フライト | エコパアリーナ | 参加者 301名 |
| | 6月27日(日)フライト | | 参加者 146名 |
| 東京オープン | 7月17日(土)フライト | 東京体育館 | 参加者 425名 |
| | 7月18日(日) 競技ルーティン | サブアリーナ | 参加者 190名 |
| 北海道オープン | 7月24日(土) 同時開催 | 北翔大学 | 参加者 307名 |
| | | 第一体育館アリーナ | |
| 岡山オープン | 8月7日(土) 競技ルーティン | 山陽ふれあい公園 | 参加者 31名 |
| | 8月8日(日) フライト | 総合体育館 | 参加者 212名 |
| 鳥取オープン | 9月4日(土) 同時開催 | 三朝町総合スポーツ | 参加者 243名 |
| | | センター | |
| 福岡オープン | 11月20日(土) フライト | 折尾スポーツ | 参加者 297名 |
| | 11月21日(日) 競技ルーティン | センター | 参加者 185名 |
| 兵庫オープン | 12月25日(土) 競技ルーティン | ベイコム総合体育館 | 参加者 210名 |

【全国大会予選の内容】

JOC ジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選
全国フライト・エアロビック選手権大会予選
全国ユースフライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、13チーム、117名が参加。

(7)「登録クラブ選手権大会」の開催

- ・競技エアロビック登録クラブの進展に伴いクラブの強化と活性化を目的に第1回大会を開催。

【期 日】 7月19日(祝)
【会 場】 東京体育館サブアリーナ
【参加者】 194名

．エアロビックの国際競技大会等に対する代表参加者の派遣並びに選手強化活動

1．FIG 世界選手権大会・年齢別選手権大会への選手団の派遣

- ・フランスのロデスで開催された国際体操連盟(FIG)主催のFIG 世界選手権・年齢別選手権大会への派遣を行った。

【期間】 6月12日～21日(10日間)

【開催地】 フランス、ロデス市

【派遣数】 47名(選手、審判・役員)

2．FIG World Cup Series への選手・審判員の派遣

- ・国際体操連盟(FIG)が主催する下記ワールドシリーズ大会への派遣を行った。

【期間】 2011年2月23日～28日(6日間)

【場所】 フランス、アレックスバインズ

【派遣数】 2名(選手、審判)

3．アジア選手権大会への選手団の派遣

- ・AGU(アジア体操連合)が主催するアジア選手権大会への派遣を行った。

【期間】 12月14日～18日(5日間)

【開催地】 ベトナム ホーチミン市

【派遣数】 20名(選手、審判・役員)

4．選手強化の一環として、ルーマニアで合同合宿の開催

- ・JAF初の試みとして、ルーマニア体操協会の支援を得て黒海沿岸のコンスタンツァ市において日本のユース選手と地元ユース選手の合同合宿を開催した。

2月のナショナルキャンプ2011等を通じて、本合宿の報告等を行った。また、今後も継続して両国間の選手、コーチの派遣、招聘等の交流を図っていく。

【期間】 8月20日～27日(7日間)

【場所】 ルーマニア コンスタンツァ市

【派遣数】 14名(選手、コーチ・役員)

．エアロビックの講習会の開催及び指導者の育成

1．公認エアロビック指導者養成事業の推進

(1) 公認スポーツ指導者に関する養成講習会の開催

- ・(財)日本体育協会と共催して行う公認スポーツ指導員(専門科目)養成講習会を開催した。

| | | | | | |
|------|----|------------|-----------|------------|---------|
| 東京会場 | 前期 | 7月24日(土)～ | 7月25日(日) | 江戸川区総合体育館 | 受講者 18名 |
| | 後期 | 8月21日(土)～ | 8月22日(日) | | |
| 新潟会場 | 前期 | 9月11日(土)～ | 9月12日(日) | 新潟市横越総合体育館 | 受講者 18名 |
| | 後期 | 11月13日(土)～ | 11月14日(日) | | |

(2) 専門科目の検定試験等の実施

- ・公認エアロビック指導員の検定試験を行った。

承認校における公認エアロビック指導員・教師専門科目(検定試験)

| | | | | |
|-------|----------|---------------------|-----|-----|
| 岩手会場 | 2月5日(土) | 盛岡大学短期大学部 | 受検者 | 15名 |
| 北海道会場 | 2月6日(日) | 北翔大学 | 受検者 | 11名 |
| 大阪会場 | 2月12日(土) | 園田学園女子大学 | 受検者 | 10名 |
| 東京会場 | 2月13日(日) | 東京スポーツ・レクリエーション専門学校 | 受検者 | 11名 |
| 山口会場 | 2月13日(日) | 東亜大学 | 受検者 | 10名 |

愛知会場
(はビデオ審査による検定)

至学館大学 短期大学部・愛知学院大学

受検者 8名

2. JAF 認定エアロビック指導者養成事業の推進

(1) 「JAF National Camp 2011」の開催

・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2011」を開催した。

| | | | |
|-------|--------------------------------|--|----------|
| 【期 間】 | 2月22日(火)～27日(日) | | |
| 【会 場】 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | | |
| 【内 容】 | 指導専門委員中央研修会 | | 受講者 42名 |
| | 指導専門委員新規養成講習会 | | 受講者 30名 |
| | TA 中央研修会(プログラムA) | | 受講者 80名 |
| | TA 中央研修会(プログラムB) | | 受講者 82名 |
| | TA 新規養成講習会 | | 受講者 15名 |
| | 審判員中央研修会(プログラムA) | | 受講者 42名 |
| | 審判員中央研修会(プログラムB) | | 受講者 23名 |
| | 審判員中央研修会(プログラムC) | | 受講者 74名 |
| | 審判員昇級試験 | | 受験者 10名 |
| | 技能検定員中央研修会 | | 受講者 56名 |
| | ジュニア技能検定員中央研修会 | | 受講者 20名 |
| | ジュニア技能検定員新規養成講習会 | | 受講者 5名 |
| | JAF エアロビックセミナー(プログラムA) | | 受講者 28名 |
| | JAF エアロビックセミナー(プログラムB) | | 受講者 29名 |
| | JAF エアロビックセミナー(プログラムC) | | 受講者 14名 |
| | JAF エアロビックセミナー(プログラムD) | | 受講者 14名 |
| | 登録クラブ練習会 | | 9クラブ 28名 |
| | エアロビック技能検定会 | | 受検者 11名 |
| | JAF SUPER CAMP ミニ(プログラムA) | | 受講者 40名 |
| | JAF SUPER CAMP ミニ(プログラムB) | | 受講者 33名 |
| | JAF SUPER CAMP 一般・マスター(プログラムA) | | 受講者 13名 |
| | JAF SUPER CAMP 一般・マスター(プログラムB) | | 受講者 44名 |
| | JAF SUPER CAMP ユース | | 受講者 48名 |

(2) 県連及び登録クラブによる「C級審判員養成講習会」の開催

| | | | |
|-------|---------------------------------------|-----------------|---------|
| 東京会場 | 4月11日(日)・5月2日(日) 5月30日(日)・6月27日(日) | OKJエアロビックファミリー | 受講者 12名 |
| 熊本会場 | 8月21日(土)～22日(日) | 熊本県エアロビック連盟 | 受講者 15名 |
| 神奈川会場 | 7月3日(土)～4日(日) | 湘南茅ヶ崎 A.G.C. | 受講者 10名 |
| 茨城会場 | 7月3日(土)～4日(日) | 茨城県・千葉県エアロビック連盟 | 受講者 4名 |
| 福島会場 | 10月23日(土)～24日(日) | 福島県エアロビック連盟 | 受講者 13名 |
| 宮城会場 | 1月15日(土)～16日(日) | 宮城県エアロビック連盟 | 受講者 12名 |
| 香川会場 | 3月20日(日)～21日(月・祝) | 香川県エアロビック連盟 | 受講者 10名 |

(3) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-------------------|------------|--------------------|
| 東京会場 | 6月19日(土)～6月20日(日) | 有明スポーツセンター | 受講者 25名 (内試験のみ) |
|------|-------------------|------------|--------------------|

| | | | |
|------|------------------|----------|---------|
| 岩手会場 | 通年 | 修紅短期大学 | 12名) |
| 山梨会場 | 2月9日(水)~2月10日(木) | 山梨学院短期大学 | 受講者 73名 |
| 静岡会場 | 通年 | 浜松大学 | 受講生 26名 |
| | | | 受講生 8名 |

(5)「アクアエアロビック指導員(種)養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-------------------|--------------|---------|
| 東京会場 | 9月1日(水)~9月2日(木) | 日本工学院八王子専門学校 | 受講者 17名 |
| 山梨会場 | 1月29日(土)~1月30日(日) | 山梨学院短期大学 | 受講者 19名 |

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1)「JAF エアロビックセミナー」の開催

・JAF 認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて行う、JAF エアロビックセミナーを開催した。

| | | | |
|-------|-----------|------------------|---------|
| 福岡会場 | 4月4日(日) | 芦屋町総合体育館 | 受講生 22名 |
| 福島会場 | 4月7日(水) | いわき市立中央台公民館 | 受講生 12名 |
| 岩手会場 | 4月18日(日) | 花巻市総合体育館多目的ホール | 受講生 13名 |
| 千葉会場 | 4月25日(日) | 千葉ポートアリーナ | 受講生 5名 |
| 東京会場 | 6月20日(日) | 有明スポーツセンター | 受講生 29名 |
| 東京会場 | 8月21日(土) | 江戸川区総合体育館 | 受講生 24名 |
| 東京会場 | 11月23日(祝) | 清島温水プール | 受講生 12名 |
| 北海道会場 | 3月13日(日) | YMCA 英語・スポーツ専門学校 | 受講生 12名 |

(は道県連盟が主管して実施)

. 競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

・競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国4地区で開催した。本年度より、競技間交流として(財)日本体操協会に講師派遣を依頼して行った。

| | | | |
|------|--------------|-----------|----------|
| 東京会場 | 11月23日(祝) | 江戸川区総合体育館 | 参加者 44名 |
| 兵庫会場 | 12月4日(土) | 兵庫県立文化体育館 | 参加者 111名 |
| 福岡会場 | 2月5日(土) | 福岡市立博多体育館 | 参加者 37名 |
| 福岡会場 | 2月12日(土) | 福岡市立南体育館 | 参加者 96名 |
| 仙台会場 | 3月5日(土)・6(日) | 仙台市若林体育館 | 参加者 130名 |

2. 「チームジャパン合宿」の開催

・スズキワールドカップ2011の出場選手が参加して「チームジャパン合宿」を行った。

| | |
|-------|-----------------------|
| 【期間】 | 2月18日(金)~21日(月) |
| 【会場】 | 国立オリンピック記念青少年総合センター |
| 【参加者】 | 14名(一般7名、ユース2名、コーチ5名) |

. 各種関連団体との協調と連携

1. 競技力向上に関する研究(継続研究)

・ルーマニアとの合同合宿、チームジャパン合宿等を通じて選手強化に関する研究をすすめた。

2. 生涯エアロビックに関する研究(継続研究)

・袋井エアロビック協議会と協力して23年度の推進事業として、「スローエアロビック」のプログラム開発をスタートさせた。

・中学校体育のダンス授業への導入を目的に「チーム・ダンスエアロビック」の編集と制作をすすめた。

3. アダプテッド・エアロビックに関する研究（継続研究）

・神奈川県エアロビック連盟の事業委託、ナイスハート基金「ふれあいスポーツ広場」への指導者派遣等を通じて継続的な研究をすすめた。

4. エアロビック・フィットネス協議会(AFC)との連携

・エアロビック・フィットネス界の発展を目的として2000年に設立。
2010年度も(社)日本フィットネス協会、アフア・ジャパンの主要団体と協力連携して次の事業を行った。

機関紙「AFC PRESS」の年4回の発行と編集協力

AFC設立10周年記念企画として「感動ストーリー」を募集

・広報活動の推進

1. NHK 定時番組等の制作協力

定時番組「BS エアロビック」の制作協力

・1998年にスタートしたNHKBS-2の定時番組「BS エアロビック」の制作協力を本年も継続して行った。

【出演者】 吉田知子・本間友暁・田中小夜子

【放送】 NHK BS-2 4月より月曜日～木曜日 午前9:50～10:00(10分番組)

定時番組「ドゥ!エアロビック」の制作協力

・2003年10月にスタートした全国各地の街や職場を紹介し、参加者と一緒にエアロビックを楽しむ公開収録によるNHKBS-2の定時番組「ドゥ!エアロビック」の制作協力を行った。

・10月に開催されたスポレクとやま2011での番組収録を行った。

【放送】 毎週木曜日、NHK BS-2 午後12:30～12:54(24分番組)

【内容】 全国各地を訪問する公開収録形式

【出演者】 知念かおる他

2. JAF 会員誌『スマイル』の発行

・本連盟会員のための情報誌として1998年7月に創刊。本年も年4回発行した。

48号 4月1日発行 各5,000部発行

49号 7月1日発行

50号 10月1日発行

51号 1月1日発行

・その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. 都道府県連盟の加盟状況

・2010年度の都道府県連盟の加盟状況は、次の通りとなった。

【正加盟】 31都府県

【準加盟】 4県 栃木、群馬、茨城、山口

【設立準備委員会】 5県 新潟、愛媛、大分、鹿児島、沖縄

未組織は7府県(京都、奈良、和歌山、徳島、高知、島根、佐賀)

2. 賛助会員（法人・個人・サークル）の推進

・2010年度の、賛助会員数の状況は、次の通りとなった。

| | | |
|----------|--------|-----------------|
| 【法人賛助会員】 | 22社 | (企業関係11、学校関係11) |
| 【個人賛助会員】 | 1,889人 | |

3. 選手登録の推進

・2010年度の選手登録状況は、次の通りとなった。

| | |
|---------|--------------|
| 【選手登録数】 | 2,650人(毎年更新) |
|---------|--------------|

4. 競技登録クラブの推進

・2010年度の「JAF 競技登録クラブ」の登録状況は、次の通りとなった。

| | |
|-----------|-------|
| 【競技登録クラブ】 | 44クラブ |
|-----------|-------|

以上

平成22年度 決算報告書

平成22年 4月 1日から
平成23年 3月31日まで

1. 財務諸表

- (1) 貸借対照表
- (2) 正味財産増減計算書
- (3) 財産目録

2. 収支計算書

- (1) 収支計算書
- (2) 収支計算書に対する注記

社団法人日本エアロビック連盟

貸借対照表
平成 23年 3月 31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|---------------|--------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 68,343,779 | 116,505,443 | -48,161,664 |
| 売掛金 | 537,600 | 200,200 | 337,400 |
| 商品 | 884,384 | 989,250 | -104,866 |
| 貯蔵品 | 1,625,011 | 2,181,494 | -556,483 |
| 未収入金 | 337,268 | 2,766,235 | -2,428,967 |
| 前払費用 | 3,509,060 | 2,564,779 | 944,281 |
| 流動資産合計 | 75,237,102 | 125,207,401 | -49,970,299 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 基本財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 7,314,176 | 3,614,240 | 3,699,936 |
| 大会運営積立資産 | 105,000,000 | 50,000,000 | 55,000,000 |
| 特定資産合計 | 112,314,176 | 53,614,240 | 58,699,936 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物附属設備 | 4,489 | 8,974 | -4,485 |
| 什器備品 | 4,173,507 | 1,363,248 | 2,810,259 |
| 電話加入権 | 291,200 | 291,200 | - |
| ソフトウェア | 2,501,668 | 2,561,148 | -59,480 |
| 保証金 | 2,667,600 | 2,667,600 | - |
| 長期前払費用 | - | 711,978 | -711,978 |
| その他固定資産合計 | 9,638,464 | 7,604,148 | 2,034,316 |
| 固定資産合計 | 141,952,640 | 81,218,388 | 60,734,252 |
| 資産合計 | 217,189,742 | 206,425,789 | 10,763,953 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 4,335,279 | 5,669,306 | -1,334,027 |
| 未払費用 | 2,570,129 | 2,836,219 | -266,090 |
| 前受金 | 3,429,500 | 4,861,229 | -1,431,729 |
| 預り金 | 1,837,550 | 9,659,733 | -7,822,183 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 70,000 | - |
| 未払消費税等 | 131,100 | 3,337,700 | -3,206,600 |
| 流動負債合計 | 12,373,558 | 26,434,187 | -14,060,629 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 8,788,451 | 3,614,240 | 5,174,211 |
| 固定負債合計 | 8,788,451 | 3,614,240 | 5,174,211 |
| 負債合計 | 21,162,009 | 30,048,427 | -8,886,418 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 寄付金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (うち基本財産への充当額) | (20,000,000) | (20,000,000) | (-) |
| 2. 一般正味財産 | 176,027,733 | 156,377,362 | 19,650,371 |
| (うち特定資産への充当額) | (105,000,000) | (50,000,000) | (55,000,000) |
| 正味財産合計 | 196,027,733 | 176,377,362 | 19,650,371 |
| 負債及び正味財産合計 | 217,189,742 | 206,425,789 | 10,763,953 |

正味財産増減計算書

平成22年 4月 1日から平成23年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産運用益 | 20,000 | 30,820 | -10,820 |
| 基本財産受取利息 | 20,000 | 30,820 | -10,820 |
| ② 特定資産運用益 | 47,521 | 10,949 | 36,572 |
| 特定資産受取利息 | 47,521 | 10,949 | 36,572 |
| ③ 受取会費 | 16,490,839 | 19,103,751 | -2,612,912 |
| 正会員受取会費 | 2,800,000 | 2,500,000 | 300,000 |
| 賛助会員受取会費 | 10,441,800 | 13,095,200 | -2,653,400 |
| 登録クラブ受取会費 | 2,400,000 | 2,460,000 | -60,000 |
| 国際加盟費受取会費 | 849,039 | 1,048,551 | -199,512 |
| ④ 事業収益 | 234,534,322 | 256,254,906 | -21,720,584 |
| 競技会事業収益 | 165,096,315 | 188,506,425 | -23,410,110 |
| 認定登録事業収益 | 12,292,802 | 10,623,585 | 1,669,217 |
| 講習会等事業収益 | 53,279,550 | 52,543,048 | 736,502 |
| 商品売上事業収益 | 3,865,655 | 4,581,848 | -716,193 |
| ⑤ 受取補助金等 | 2,864,000 | 4,538,295 | -1,674,295 |
| 受取民間助成金 | 2,864,000 | 4,538,295 | -1,674,295 |
| ⑥ 雑収益 | 797,801 | 1,777,259 | -979,458 |
| 受取利息 | 43,582 | 57,673 | -14,091 |
| 受取配当金 | - | 6,000 | -6,000 |
| 雑収益 | 754,219 | 1,713,586 | -959,367 |
| 経常収益計 | 254,754,483 | 281,715,980 | -26,961,497 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | | | |
| 期首商品棚卸高 | 989,250 | 2,934,254 | -1,945,004 |
| 商品仕入高 | 870,808 | 925,221 | -54,413 |
| 期末商品棚卸高 | -1,037,530 | -2,012,290 | 974,760 |
| 普及・指導 | 23,456,891 | 16,979,394 | 6,477,497 |
| 競技会 | 86,688,615 | 91,214,079 | -4,525,464 |
| 講習会・指導者育成 | 6,458,117 | 10,121,080 | -3,662,963 |
| 給料手当 | 48,765,820 | 50,706,712 | -1,940,892 |
| 退職給付費用 | 4,602,211 | 735,068 | 3,867,143 |
| 法定福利費 | 7,349,794 | 7,276,863 | 72,931 |
| 福利厚生費 | 127,036 | 141,248 | -14,212 |
| 広告宣伝費 | - | 2,209,762 | -2,209,762 |
| 接待交際費 | 146,430 | 325,140 | -178,710 |
| 会議費 | 5,055 | 34,313 | -29,258 |
| 旅費交通費 | 2,362,527 | 2,183,284 | 179,243 |
| 出張手当 | 13,335 | 57,625 | -44,290 |
| 通信運搬費 | 1,264,492 | 2,466,240 | -1,201,748 |
| 消耗品費 | 3,027,131 | 1,626,405 | 1,400,726 |
| 修繕費 | - | 1,411,476 | -1,411,476 |
| 賃借料 | 515,321 | 664,357 | -149,036 |
| 事務所賃借料 | 5,738,594 | 5,853,521 | -114,927 |
| 保険料 | 276,404 | 243,404 | 33,000 |
| 租税公課 | 9,000 | 2,000 | 7,000 |
| 雑費 | 2,653,606 | 4,299,283 | -1,645,677 |
| 事業費計 | 194,282,907 | 200,398,439 | -6,115,532 |

正味財産増減計算書

平成 22年 4月 1日から平成 23年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| ② 管理費 | | | |
| 給料手当 | 16,800,000 | 16,800,000 | - |
| 退職給付費用 | 1,400,000 | 1,400,000 | - |
| 法定福利費 | 2,116,392 | 1,965,810 | 150,582 |
| 福利厚生費 | 62,705 | 88,456 | -25,751 |
| 接待交際費 | 405,911 | 376,118 | 29,793 |
| 会議費 | 94,040 | 129,658 | -35,618 |
| 旅費交通費 | 1,265,981 | 1,126,323 | 139,658 |
| 出張手当 | 32,859 | 91,027 | -58,168 |
| 通信運搬費 | 354,270 | 552,221 | -197,951 |
| 減価償却費 | 4,239,557 | 3,214,517 | 1,025,040 |
| 消耗品費 | 401,712 | 527,579 | -125,867 |
| 修繕費 | 12,267 | 325,725 | -313,458 |
| 賃借料 | 254,694 | 297,556 | -42,862 |
| 事務所賃借料 | 1,480,711 | 1,346,118 | 134,593 |
| 保険料 | 32,620 | 40,700 | -8,080 |
| 租税公課 | 495,165 | 583,113 | -87,948 |
| 支払寄付金(注1) | 1,727,000 | - | 1,727,000 |
| 雑費 | 9,335,798 | 9,860,335 | -524,537 |
| 管理費計 | 40,511,682 | 38,725,256 | 1,786,426 |
| 経常費用計 | 234,794,589 | 239,123,695 | -4,329,106 |
| 当期経常増減額 | 19,959,894 | 42,592,285 | -22,632,391 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| ① 什器備品売却益 | 22,542 | - | 22,542 |
| 経常外収益計 | 22,542 | - | 22,542 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| ① 什器備品除却損 | 108,919 | 36,635 | 72,284 |
| ② 棚卸商品減耗損 | 153,146 | 1,023,040 | -869,894 |
| 経常外費用計 | 262,065 | 1,059,675 | -797,610 |
| 当期経常外増減額 | -239,523 | -1,059,675 | 820,152 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 19,720,371 | 41,532,610 | -21,812,239 |
| 法人税等 | 70,000 | 70,000 | - |
| 当期一般正味財産増減額 | 19,650,371 | 41,462,610 | -21,812,239 |
| 一般正味財産期首残高 | 156,377,362 | 114,914,752 | 41,462,610 |
| 一般正味財産期末残高 | 176,027,733 | 156,377,362 | 19,650,371 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | - | - | - |
| 指定正味財産期首残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産期末残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| III 正味財産期末残高 | 196,027,733 | 176,377,362 | 19,650,371 |

(注) 支払寄付金には東日本大震災のお見舞金1,416,000円を含む

財 産 目 録
平成 23年 3月 31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 金 | 額 |
|-----------------|---|-------------|
| I. 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| 現金預金 | | |
| 現金 | 現金手許有高 | 422,988 |
| 普通預金 | みずほ銀行 祐天寺支店 | 66,957,622 |
| | 川崎信用金庫 宮前平支店 | 436,930 |
| | 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 163,470 |
| 郵便振替 | ゆうちょ銀行 品川支店 | 362,769 |
| 売掛金 | 指導教本他 | 537,600 |
| 商品 | キティシャツ@1,646*111枚 技能検定曲CD@2,205*61枚 JAFエンブレム@6,300*22枚 スポーツエアロビック規定曲集@770*41枚 きらさら書籍@1,109*31冊 きらさらDVD&CD@1,889*13枚 競技ルーティン採点事例セット@571*35枚 審判員試験問題集280*18冊 採点規則2009-2012@1,428*167冊 マホリック対策DVD@2,450*17本 技シャツ1,266*26枚 | 884,384 |
| 貯蔵品 | 切手類36,310 教材関係1,588,701 | 1,625,011 |
| 未収入金 | 22年度アクアエアロビック指導員認定試験料他 | 337,268 |
| 前払費用 | 平成23年度諸経費 | 3,509,060 |
| | 流動資産合計 | 75,237,102 |
| 2. 固定資産 | | |
| (1)基本財産 | | |
| 定期預金 | 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 20,000,000 |
| | 基本財産合計 | 20,000,000 |
| (2)特定資産 | | |
| 退職給付引当資産 | 定期積金 みずほ銀行 祐天寺支店 | 3,714,176 |
| | 定期預金 川崎信用金庫 宮前平支店 | 2,400,000 |
| | 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 1,200,000 |
| 大会運営積立資産 | 定期預金 みずほ銀行 祐天寺支店 | 55,000,000 |
| | 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 50,000,000 |
| | 特定資産合計 | 112,314,176 |
| (3)その他の固定資産 | | |
| 建物付属設備 | 可動間仕切り エフエム総研 2,413 可動間仕切り (株)ハンテック 2,076 | 4,489 |
| 什器備品 | エアロビックフロアH22年度 3,564,926 エアロビックフロアH16年度 270,002 パソコン 196,479、ルーター 72,516 パソコンサーバー 69,584 | 4,173,507 |
| 電話加入権 | 03-5796-7521他 | 291,200 |
| ソフトウェア | 集計システムH20年度 787,500、集計システムH22年度 618,334 会員管理システム 522,500、選手登録システム 283,334 W/Cエントリー管理システム 290,000 | 2,501,668 |
| 保証金 | 市川庄次(事務所) 2,667,600 | 2,667,600 |
| | その他の固定資産合計 | 9,638,464 |
| | 固定資産合計 | 141,952,640 |
| | 資産合計 | 217,189,742 |
| II. 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | | |
| 未払金 | 事業関係経費他 | 4,335,279 |
| 未払費用 | 従業員給与・社会保険他 | 2,570,129 |
| 前受金 | 23年度協賛金他 | 3,429,500 |
| 預り金 | 社会保険料、源泉所得税他 | 1,837,550 |
| 未払法人税等 | | 70,000 |
| 未払消費税等 | | 131,100 |
| | 流動負債合計 | 12,373,558 |
| 2. 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | | 8,788,451 |
| | 固定負債合計 | 8,788,451 |
| | 負債合計 | 21,162,009 |
| | 正味財産 | 196,027,733 |

収支計算書

自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| ① 基本財産運用収入 | 20,000 | 20,000 | - | |
| 基本財産利息収入 | 20,000 | 20,000 | - | |
| ② 特定資産運用収入 | 45,000 | 47,521 | -2,521 | |
| 特定資産利息収入 | 45,000 | 47,521 | -2,521 | |
| ③ 会費収入 | 19,030,000 | 16,490,839 | 2,539,161 | |
| 正会員会費収入 | 3,350,000 | 2,800,000 | 550,000 | |
| 賛助会員会費収入 | 12,060,000 | 10,441,800 | 1,618,200 | 賛助会費の減 |
| 登録クラブ会費収入 | 2,520,000 | 2,400,000 | 120,000 | |
| 国際加盟費収入 | 1,100,000 | 849,039 | 250,961 | |
| ④ 事業収入 | 217,123,000 | 234,534,322 | -17,411,322 | |
| 競技会収入 | 151,968,000 | 165,096,315 | -13,128,315 | 協賛金、参加料収入の増 |
| 認定・登録料収入 | 12,369,000 | 12,292,802 | 76,198 | |
| 講習会等収入 | 49,786,000 | 53,279,550 | -3,493,550 | 受託収入の増 |
| 商品売上収入 | 3,000,000 | 3,865,655 | -865,655 | |
| ⑤ 補助金等収入 | 3,168,000 | 2,864,000 | 304,000 | |
| 民間助成金収入 | 3,168,000 | 2,864,000 | 304,000 | |
| ⑥ 雑収入 | 510,000 | 797,801 | -287,801 | |
| 受取利息 | 55,000 | 43,582 | 11,418 | |
| 雑収入 | 455,000 | 754,219 | -299,219 | |
| 事業活動収入計 | 239,896,000 | 254,754,483 | -14,858,483 | |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| ① 事業費支出 | 192,890,000 | 190,004,230 | 2,885,770 | |
| 商品仕入高支出 | 1,000,000 | 870,808 | 129,192 | |
| 普及・指導支出 | 24,866,000 | 23,032,140 | 1,833,860 | 一部事業中止による減 |
| 競技会支出 | 82,365,000 | 86,688,615 | -4,323,615 | 派遣事業の増 |
| 講習会・指導者育成支出 | 7,672,000 | 6,797,197 | 874,803 | |
| 給料手当支出 | 52,122,000 | 48,765,820 | 3,356,180 | 職員退職による減 |
| 退職給付費用支出 | 828,000 | 828,000 | - | |
| 法定福利費支出 | 6,818,000 | 7,349,794 | -531,794 | |
| 福利厚生費支出 | 150,000 | 127,036 | 22,964 | |
| 広告宣伝費支出 | 100,000 | - | 100,000 | |
| 接待交際費支出 | 300,000 | 146,430 | 153,570 | |
| 会議費支出 | 50,000 | 5,055 | 44,945 | |
| 旅費交通費支出 | 2,319,000 | 2,362,527 | -43,527 | |
| 出張手当支出 | 60,000 | 13,335 | 46,665 | |
| 通信運搬費支出 | 2,773,000 | 1,260,450 | 1,512,550 | 運搬費見直しによる減 |
| 消耗品費支出 | 2,792,000 | 2,587,107 | 204,893 | |
| 修繕費支出 | 50,000 | - | 50,000 | |
| 賃借料支出 | 481,000 | 515,321 | -34,321 | |
| 事務所賃借料支出 | 5,687,000 | 5,738,594 | -51,594 | |
| 保険料支出 | 240,000 | 276,404 | -36,404 | |
| 租税公課支出 | 10,000 | 9,000 | 1,000 | |
| 雑費支出 | 2,207,000 | 2,630,597 | -423,597 | |
| ② 管理費支出 | 33,181,000 | 34,868,388 | -1,687,388 | |
| 給料手当支出 | 16,800,000 | 16,800,000 | - | |
| 法定福利費支出 | 2,090,000 | 2,116,392 | -26,392 | |
| 福利厚生費支出 | 76,000 | 62,705 | 13,295 | |
| 接待交際費支出 | 200,000 | 405,911 | -205,911 | |
| 会議費支出 | 100,000 | 94,040 | 5,960 | |
| 旅費交通費支出 | 1,218,000 | 1,265,981 | -47,981 | |
| 出張手当支出 | 39,000 | 32,859 | 6,141 | |
| 通信運搬費支出 | 545,000 | 355,854 | 189,146 | |
| 消耗品費支出 | 415,000 | 401,712 | 13,288 | |
| 修繕費支出 | 50,000 | 12,267 | 37,733 | |
| 賃借料支出 | 261,000 | 254,694 | 6,306 | |
| 事務所賃借料支出 | 1,551,000 | 1,480,711 | 70,289 | |
| 保険料支出 | 41,000 | 32,620 | 8,380 | |
| 租税公課支出 | 520,000 | 495,165 | 24,835 | |
| 支払寄付金支出 | - | 1,727,000 | -1,727,000 | 震災お見舞金による増 |
| 雑費支出 | 9,275,000 | 9,330,477 | -55,477 | |
| ③ その他事業活動支出 | 1,500,000 | 70,000 | 1,430,000 | |
| 法人税等支出 | 1,500,000 | 70,000 | 1,430,000 | |
| 事業活動支出計 | 227,571,000 | 224,942,618 | 2,628,382 | |
| 事業活動収支差額 | 12,325,000 | 29,811,865 | -17,486,865 | |

収支計算書

自 平成 22年 4月 1日 至 平成 23年 3月 31日

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------|
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| 固定資産売却収入 | - | 99,750 | -99,750 | |
| 投資活動収入計 | - | 99,750 | -99,750 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| ① 特定資産取得支出 | 1,655,000 | 58,699,936 | -57,044,936 | |
| 退職給付引当資産取得支出 | 1,655,000 | 3,699,936 | -2,044,936 | 23年度見込みによる増 積み増しによる増 |
| 大会運営積立資産取得支出 | - | 55,000,000 | -55,000,000 | |
| ② 固定資産取得支出 | 9,800,000 | 6,460,000 | 3,340,000 | |
| 什器備品取得支出 | 8,500,000 | 5,460,000 | 3,040,000 | エアロビックフロア価格の減 |
| ソフトウェア取得支出 | 800,000 | 1,000,000 | -200,000 | |
| 繰延資産取得支出 | 500,000 | - | 500,000 | |
| 投資活動支出計 | 11,455,000 | 65,159,936 | -53,704,936 | |
| 投資活動収支差額 | -11,455,000 | -65,060,186 | 53,605,186 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | | |
| 財務活動収入計 | - | - | - | |
| 2. 財務活動支出 | | | | |
| 財務活動支出計 | - | - | - | |
| 財務活動収支差額 | - | - | - | |
| IV 予備費支出 | 870,000 | - | 870,000 | (注) |
| 当期収支差額 | - | -35,248,321 | 35,248,321 | |
| 前期繰越収支差額 | 95,602,000 | 95,602,470 | -470 | |
| 次期繰越収支差額 | 95,602,000 | 60,354,149 | 35,247,851 | |

(注) 予備費は事業活動支出に充当使用した額である。

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務が含まれる。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

| 科 目 | 前 期 末 残 高 | 当 期 末 残 高 |
|-----------------|-------------|------------|
| 現 金 預 金 | 116,505,443 | 68,343,779 |
| 売 掛 金 | 200,200 | 537,600 |
| 未 収 入 金 | 2,766,235 | 337,268 |
| 前 払 費 用 | 2,564,779 | 3,509,060 |
| 合 計 | 122,036,657 | 72,727,707 |
| 未 払 金 | 5,669,306 | 4,335,279 |
| 未 払 費 用 | 2,836,219 | 2,570,129 |
| 前 受 金 | 4,861,229 | 3,429,500 |
| 預 り 金 | 9,659,733 | 1,837,550 |
| 未 払 法 人 税 等 | 70,000 | 70,000 |
| 未 払 消 費 税 等 | 3,337,700 | 131,100 |
| 合 計 | 26,434,187 | 12,373,558 |
| 次 期 繰 越 収 支 差 額 | 95,602,470 | 60,354,149 |

平成23年度 事業・決算報告書

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

I. 事業報告

II. 決算報告

1. 財務諸表

- (1) 貸借対照表
- (2) 正味財産増減計算書
- (3) 財務諸表に対する注記
- (4) 財産目録

2. 収支計算書

- (1) 収支計算書
- (2) 収支計算書に対する注記

III. 監査報告書

社団法人日本エアロビック連盟

I . 事業報告

平成 23 年度(2011)の事業報告

I. エアロビクの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビク事業の推進

(1) 「第 24 回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビク大会」の開催

- ・生涯スポーツの祭典全国スポレク祭 2011 は栃木県下で開催され、エアロビク大会は那須町の那須町スポーツセンターで 14 回目を開催した。

また、日韓スポーツ交流事業として韓国からの参加もあり、大会の様子は NHK BS プレミアム「ドゥ！エアロビク」で 2 週にわたって全国放送された。

【期 間】 11 月 6 日(日)～7 日(月)の 2 日間

【会 場】 栃木県那須郡那須町 那須町スポーツセンター

【参加者】 47 チーム 261 名(うち韓国 3 チーム 15 名)

【放 送】 NHK BS プレミアム「ドゥ！エアロビク」12 月 5 日(月)、12 日(月)
再放送:12 月 10 日(土)、17 日(土)

(2) 「スローエアロビク」の開発と普及

- ・凸版印刷(株)の支援を得て、袋井市民の健康づくりプログラムとして「スローエアロビク」を開発し、袋井市の関係機関と連携して市民向けに普及指導を行った。また、袋井発の健康づくりプログラムとして全国への普及を図った。

【主な事業】

7 月 3 日(日) 袋井市スローエアロビク指導者講習会の開催
8 月 6 日(土) 遠州花火大会会場でスローエアロビクのデモと指導
10 月 18 日(火) NHKBS プレミアム「ドゥ！エアロビク」の収録と全国放送
1 月 22 日(日) リーフレットの制作と配布 (25,000 部)
1 月 12 日～3 月 22 日 市民向けスローエアロビク教室の開催と効果測定
その他

(3) 「みんなでエアロビク第 4 回全国ビデオコンクール」の開催

- ・凸版印刷(株)の支援を得て「みんなでエアロビク・第 4 回全国ビデオコンクール」を開催した。

【後 援】 文部科学省、袋井市、(財)日本体育協会 他

【期 間】 9 月～11 月

【応募数】 77 チーム(参加者 4,254 名)

【表 彰】 グランプリ(最優秀賞)3 部門 3 チーム、優秀賞 3 部門 3 チーム、
入選 3 部門 9 チーム、特別賞 1 チームを表彰

(4) 「エアロビク技能検定会」の開催とガイドの改訂

- ・日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビク技能検定会を、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- ・普及指導委員会の検定プロジェクトを発足して、エアロビク検定の改訂を行い第 3 版のガイドブックを制作した。これにより新しいエアロビク愛好者の開拓をすすめるものとした。

①2011 年度エアロビク検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|----|-----|-----|-----|
| 10 | 43 | 42 | 41 |
| 9 | 61 | 58 | 58 |
| 8 | 105 | 104 | 100 |
| 7 | 162 | 153 | 135 |
| 6 | 294 | 262 | 259 |
| 5 | 215 | 126 | 126 |

| | | | |
|----|-------|-----|-----|
| 4 | 110 | 73 | 73 |
| 3 | 70 | 27 | 27 |
| 2 | 32 | 15 | 15 |
| 1 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 1,092 | 857 | 834 |

②2011年度ジュニア検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|----|-------|-------|-------|
| 5 | 558 | 555 | 555 |
| 4 | 487 | 374 | 374 |
| 3 | 507 | 381 | 381 |
| 2 | 345 | 166 | 166 |
| 1 | 102 | 54 | 54 |
| 合計 | 1,999 | 1,530 | 1,530 |

③通算受検者数 34,807人

④通算登録者数 24,327人

(5)「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

①「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2012」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま 2012」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

- 【主催】 神奈川県エアロビック連盟(共催)
【期 日】 2月19日(日)、シンポジウム
3月11日(日)、エアロビック大会
【会 場】 横浜ラポール
【参加者】 シンポジウム 30名、エアロビック大会 650名

②ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・(公財)ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

| | | | |
|-------|-----------|----------------|----------|
| 宮崎大会 | 4月25日(月) | 延岡市民体育館 | 参加者 268名 |
| 京都大会 | 6月5日(日) | 京都市障害者スポーツセンター | 参加者 721名 |
| 北海道大会 | 6月14日(火) | 北広島市総合体育館 | 参加者 275名 |
| 兵庫大会 | 6月22日(水) | 兵庫県立総合体育館 | 参加者 192名 |
| 石川大会 | 7月4日(月) | いしかわ総合スポーツセンター | 参加者 437名 |
| 熊本大会 | 10月9日(土) | 人吉スポーツパレス | 参加者 588名 |
| 長野大会 | 11月26日(土) | 坂城町文化センター体育館 | 参加者 370名 |

(6)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動として糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下記の5会場で協力して行った。

| | | | |
|------|-----------|-------------------|---------|
| 横浜会場 | 11月6日(日) | ラジオ日本ラジアントホール | 参加者 40名 |
| 東京会場 | 11月12日(土) | あいおいニッセイ同和損保新宿ビル | 参加者 50名 |
| 福岡会場 | 11月13日(日) | 天神イムズ イムズホール | 参加者 60名 |
| 尼崎会場 | 11月27日(日) | 園田学園中学校・高等学校清明ホール | 参加者 50名 |
| 福井会場 | 12月18日(日) | 福井商工会議所コンベンションホール | 参加者 60名 |

2. 競技エアロビック事業の推進

(1) 「スズキワールドカップ 2011 第 22 回世界エアロビック選手権大会」の開催

「SUZUKI WORLD CUP 2011第22回世界エアロビック選手権大会」は「FIG ワールドシリーズ浜松国際」を併設して、国際エアロビック連盟(IAF)、国際体操連盟(FIG)と共同で開催した。なお、本年度は東日本大震災の影響により、会場を浜松市に移して実施した。

| | |
|-------|--|
| 【期 日】 | 予選 6月 4日(土)、決勝 6月 5日(日) |
| 【会 場】 | ACT City 展示イベントホール |
| 【参 加】 | 7ヶ国、74名 |
| 【成 績】 | ①AG1 女子シングル 優勝、準優勝 ②AG1 トリオ 優勝、準優勝 ③AG2 女子シングル 優勝、準優勝 ④AG2 男子シングル 優勝、3位 ⑤AG2 トリオ 優勝、準優勝 ⑥一般男子シングル 3位、5位 ⑦一般女子シングル 優勝、準優勝 ⑧ミックスペア 3位、5位 ⑨トリオ 準優勝、3位 |
| 【放 送】 | NHK BS-1 6月 11日(土) 13:00～13:50 6月 13日(月) 18:00～18:50(再放送) NHK ワールドプレミアム 6月 28日(火) 15:00～15:50 |

(2) 「スズキジャパンカップ 2011 第 28 回全日本エアロビック選手権大会」の開催

・国内の競技エアロビックの頂点を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第 28 回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。

<都道府県大会>

・4月～7月の期間に全国都道府県において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

| | | | |
|---------|------------|---------------|----------|
| 中部地区大会 | 9月 10日(土) | 中村スポーツセンター | 出場者 178名 |
| 北海道地区大会 | 9月 23日(祝) | 北翔大学 第1体育館 | 出場者 71名 |
| 東北地区大会 | 10月 1日(土) | 上市市体育文化センター | 出場者 85名 |
| 九州地区大会 | 10月 1日(土) | 九電記念体育館 | 出場者 130名 |
| 西日本地区大会 | 10月 15日(土) | なみはやドームサブアリーナ | 出場者 139名 |
| 東日本地区大会 | 10月 29日(土) | 東京武道館 | 出場者 202名 |

<全国大会>

| | |
|-------|--------------------------------|
| 【期 日】 | 10月 30日(日) |
| 【会 場】 | 東京武道館(足立区綾瀬) |
| 【出場者】 | 192名 |
| 【放 送】 | NHK 総合TV 11月 5日(土) 16:00～17:00 |

(3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井 2012」の開催

・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第 7 回大会を開催した。

・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催することから、袋井市をはじめ袋井市内の関係団体と実行委員会を組織して、開催準備と運営等をすすめた。

<予選大会>

・シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2011」において行った。

- ・ チーム部門及び AG1 グループ部門の予選を「JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門・グループ部門予選」として前日に行った。

【期 日】 1月21日(土)
 【会 場】 エコパアリーナ サブアリーナ
 【参加者】 チーム 28 チーム、227 名 / グループ 5 チーム 36 名

<全国大会>

【期 日】 1月22日(日)
 【会 場】 エコパアリーナ メインアリーナ
 【参加者】 316 名

(4)「第11回全日本学生エアロビック選手権大会」「第2回全日本高等学校エアロビック選手権大会」の開催

- ・ 学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第11回大会を開催した。

【期 日】 11月27日(日)
 【会 場】 日本工学院八王子専門学校 体育館(東京都八王子市)
 【参加者】 大学(大学院)、短大、専門学校：28校、167名 高校、高専：22校、37名

(5)「第7回全国フライト選手権大会」の開催

- ・ 「スポーツエアロビック 2011」と全日本学生選手権大会のフライト部門上位者による第7回全国フライト選手権大会を兵庫県尼崎市で開催した。

【期 日】 12月25日(日)
 【会 場】 ベイコム総合体育館(兵庫県尼崎市)
 【参加者】 342名

(6)「スポーツエアロビック 2011」の開催

- ・ エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック 2011」を全国10会場で開催した。また、各種全国大会の予選も兼ねて行った。
- ・ 東日本大震災の影響により5月上旬に予定していた宮城オープンが中止となり、代って山形県でフライトのみ東北オープンとして開催した。

| | | | |
|---------|------------------|------------------|----------|
| 埼玉オープン | 5月21日(土)競技ルーティン | さいたま市与野体育館 | 参加者 186名 |
| 大阪オープン | 6月11日(土)フライト | 大阪市中央体育館サブアリーナ | 参加者 352名 |
| 東北オープン | 6月26日(土)フライト | 山形市総合スポーツセンター | 参加者 185名 |
| 静岡オープン | 6月25日(土)フライト | エコパアリーナ | 参加者 305名 |
| | 6月26日(日)競技ルーティン | サブアリーナ | 参加者 236名 |
| 東京オープン | 7月16日(土)フライト | 東京体育館 | 参加者 372名 |
| | 7月17日(日)競技ルーティン | サブアリーナ | 参加者 275名 |
| 北海道オープン | 7月30日(土)同時開催 | 北翔大学第1体育館アリーナ | 参加者 348名 |
| 宮崎オープン | 8月27日(土)フライト | シーガイアコンベンションセンター | 参加者 172名 |
| 鳥取オープン | 9月3日(土)同時開催 | 三朝町役場総合スポーツセンター | 参加者 259名 |
| 福岡オープン | 12月4日(土)フライト | 折尾スポーツセンター | 参加者 312名 |
| | 12月5日(日)競技ルーティン | | 参加者 183名 |
| 兵庫オープン | 12月24日(土)競技ルーティン | ベイコム総合体育館 | 参加者 199名 |

【全国大会予選の内容】

- ①JOC ジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選
- ②全国フライト・エアロビック選手権大会予選
- ③全国ユースフライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、19 チーム、126 名が参加。

(7) 「一般男女シングル部門第二次日本代表選手選考会／一般グループ部門日本代表選考会」

- ・スズキジャパンカップ 2011 の 2 位、3 位、スポーツエアロビック 2011 の各大会第 1 位選手による選考会とグループ部門の代表選考会を行った。

【期 日】 12 月 24 日(土)
【会 場】 ベイコム総合体育館
【出場者】 一般男子シングル 5 名、一般女子シングル 8 名
一般グループ 3 組

(8) 「登録クラブ選手権大会」の開催

- ・競技エアロビック登録クラブの進展に伴いクラブの強化と活性化を目的に第 2 回大会を開催。

【期 日】 7 月 18 日(祝)
【会 場】 東京体育館サブアリーナ
【参加者】 189 名

II. エアロビックの国際競技大会等に対する代表参加者の派遣並びに選手強化活動

1. FIG World Cup Series への選手・審判員の派遣

- ・国際体操連盟 (FIG) が主催する下記のワールドシリーズ大会への派遣を行った。

(1) ブルガリア大会

【期間】 2011 年 5 月 11 日～16 日 (6 日間)
【場所】 ブルガリア・ボロベツ
【派遣数】 6 名 (選手、審判)
【成績】 一般男子シングル 4 位、8 位

(2) フランス大会

【期間】 2012 年 3 月 21 日～26 日 (6 日間)
【場所】 フランス・エクスレバン
【派遣数】 6 名 (選手、審判)
【成績】 一般男子シングル 6 位、7 位
ミックスペア 3 位
トリオ 5 位

2. ユニバーシアード競技大会への選手団の派遣

- ・FISU (国際大学スポーツ連合) が主催する第 26 回ユニバーシアード競技大会への派遣を行った。

【期間】 8 月 17 日～24 日 (8 日間)
【開催地】 中国・深圳
【派遣数】 10 名 (選手、審判・役員)
【成績】 エアロビックダンス 5 位
トリオ 12 位
ミックスペア 7 位

Ⅲ. エアロビクの講習会の開催及び指導者の育成

1. 公認エアロビク指導者養成事業の推進

(1) 専門科目の検定試験等の実施

- ・各承認校、認定校の公認エアロビク指導員の検定試験をビデオ審査により実施した

■承認校の公認エアロビク指導員・教師専門科目(検定試験)

| | | |
|---------------------|-----|-----|
| 北海道体育大学校 | 受検者 | 4名 |
| 札幌YMCA英語・スポーツ専門学校 | 受検者 | 1名 |
| 関東学園大学 | 受検者 | 2名 |
| 日本工学院八王子専門学校 | 受検者 | 4名 |
| 東京スポーツ・レクリエーション専門学校 | 受検者 | 12名 |
| 愛知学院大学 | 受検者 | 7名 |
| 至学館大学短期大学部 | 受検者 | 3名 |
| 大阪社会体育専門学校 | 受検者 | 1名 |

■認定校の公認エアロビク指導員専門科目(検定試験)

| | | |
|-----------|-----|-----|
| 盛岡大学短期大学部 | 受検者 | 12名 |
| 園田学園女子大学 | 受検者 | 17名 |

2. JAF 認定エアロビク指導者養成事業の推進

(1) 「JAF National Camp 2011」の開催

- ・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2011」を開催した。

| | | |
|------|-------------------------|---------|
| 【期間】 | 2月18日(火)～26日(日) | |
| 【会場】 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | |
| 【内容】 | 指導専門委員中央研修会 | 受講者 47名 |
| | TA 中央研修会(プログラムA) | 受講者 55名 |
| | TA 中央研修会(プログラムB) | 受講者 86名 |
| | 審判員中央研修会(A B級) | 受講者 48名 |
| | 審判員中央研修会(C級) | 受講者 63名 |
| | 審判員昇級試験 | 受験者 12名 |
| | 技能検定員中央研修会 | 受講者 81名 |
| | 技能検定員新規養成講習会 | 受講者 5名 |
| | 技能検定員移行講習会 | 受講者 8名 |
| | ジュニア技能検定員中央研修会 | 受講者 16名 |
| | ジュニア技能検定員新規養成講習会 | 受講者 11名 |
| | JAF エアロビクセミナー(プログラムA) | 受講者 24名 |
| | JAF エアロビクセミナー(プログラムB) | 受講者 28名 |
| | JAF エアロビクセミナー(プログラムC) | 受講者 7名 |
| | JAF エアロビクセミナー(プログラムD) | 受講者 7名 |
| | エアロビク技能検定会 | 受検者 9名 |
| | JAF SUPER CAMP ミニA | 受講者 38名 |
| | JAF SUPER CAMP ミニB | 受講者 18名 |
| | JAF SUPER CAMP フライトA | 受講者 58名 |
| | JAF SUPER CAMP フライトB | 受講者 64名 |
| | JAF SUPER CAMP 競技ルーティンA | 受講者 21名 |
| | JAF SUPER CAMP 競技ルーティンB | 受講者 35名 |

(2) 県連盟による「C級審判員養成講習会」の開催

| | | | |
|------|----------------|-------------|---------|
| 東京会場 | 8月7日、21日、28日 | 東京都エアロビック連盟 | 受講者 8名 |
| 熊本会場 | 8月28日、9月23日 | 熊本県エアロビック連盟 | 受講者 4名 |
| 山梨会場 | 11月13日、20日、27日 | 山梨県エアロビック連盟 | 受講者 10名 |
| 茨城会場 | 12月3日～4日 | 静岡県エアロビック連盟 | 受講者 6名 |
| 山梨会場 | 12月23日※再試験 | 山梨県エアロビック連盟 | 受講者 3名 |

(3) 県連盟による「C級審判員資格更新研修会」の開催

| | | | |
|------|-------|-------------|---------|
| 熊本会場 | 8月28日 | 熊本県エアロビック連盟 | 受講者 14名 |
|------|-------|-------------|---------|

(4) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-----------|--------------|----------------------|
| 東京会場 | 6月19日～20日 | 有明スポーツセンター | 受講者 11名 (内試験のみ1名) |
| 岩手会場 | 通年 | 修紅短期大学 | 受講者 63名 |
| 山梨会場 | 8月6日～8月7日 | 山梨学院短期大学 | 受講生 20名 |
| 東京会場 | 2月8日～9日 | 日本工学院八王子専門学校 | 受講生 29名 |

(5) 「アクアエアロビック指導員(Ⅱ種)養成講習会」の開催

| | | | |
|------|----|----------|---------|
| 兵庫会場 | 通年 | 園田学園女子大学 | 受講者 28名 |
|------|----|----------|---------|

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAF エアロビックセミナー」の開催

・JAF 認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて JAF エアロビックセミナーを開催した。

| | | | |
|--------|----------|---------------|---------|
| 東京会場 | 6月19日(日) | 有明スポーツセンター | 受講生 21名 |
| 静岡会場※ | 11月6日(日) | 島田総合スポーツセンター | 受講生 22名 |
| 富山会場※ | 12月4日(日) | 富山体育文化センター | 受講生 21名 |
| 福岡会場※ | 1月29日(日) | 芦屋町総合体育館 | 受講生 21名 |
| 北海道会場※ | 3月25日(日) | サンシャインスポーツクラブ | 受講生 6名 |

(※は道県連盟が主管して実施)

IV. 競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

・競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国4地区で開催した。

| | | | |
|------|-----------------|-------------|----------|
| 東京会場 | 11月26日(土) | 日本ダンススポーツ連盟 | 参加者 98名 |
| 滋賀会場 | 12月17日(土) | 滋賀県立体育館 | 参加者 61名 |
| 仙台会場 | 3月4日(土) | 仙台市若林体育館 | 参加者 72名 |
| 福岡会場 | 3月17日(土)フライトコース | 福岡市民体育館 | 参加者 52名 |
| | 3月18日(土)競技コース | 福岡市立博多体育館 | ※参加者 34名 |

※は TA 資格更新研修会参加者を含む

2. 「チームジャパン練習会及び合宿」の開催

・スズキワールドカップ 2012 の出場選手が参加して「チームジャパン練習会・合宿」を行った。

(1) 練習会

【期 間】 2月19日(日)～20日(月)
【会 場】 国立オリンピック記念青少年総合センター
【参加者】 14名(一般13名、国際審判員1名)

(2) 合宿

【期 間】 3月27日(火)～30日(金)
【会 場】 蕨塚本町社会体育館
【参加者】 39名(一般8名、ユース24名、コーチ5名、国際審判員1名、役員1名)

3. 「AUG(アジアエアロビック連合)主催合同合宿」への派遣

【期 間】 11月23日～28日(6日間)
【会 場】 釜山スポーツ高校・韓国
【参加者】 4名(選手2名、コーチ2名)

V. 専門委員会や関連団体との協調と連携

1. 競技力向上に関する研究と活動

- ・ルーマニアとの合同合宿、チームジャパン合宿等を通じて選手強化に関する研究をすすめるとともに、競技選手のためのスキルアップトレーニングDVDを制作した。
- ・ユースの育成を目的として、U-10の規定ルーティンを作成し、Webを通して告知した。

2. 生涯エアロビックに関する研究と活動

- ・袋井エアロビック協議会と協力して「スローエアロビック」のプログラム開発や普及をすすめた。
- ・中学校体育のダンス授業の教材として「チーム・ダンスエアロビック」の制作と啓発をすすめた。
- ・技能検定プロジェクトを編成して、エアロビック技能検定の「エアロビック技能検定ガイド」の改訂と制作をすすめた。

3. アダプテッドエアロビックに関する研究と活動

- ・神奈川県エアロビック連盟と協力して、2012年2月にアダプテッドエアロビックを全国普及する「全国アダプテッドエアロビック協議会」の設立準備をすすめた。

4. エアロビックフィットネス協議会(AFC)との連携

- ・エアロビックフィットネス界の発展を目的として2000年に設立。
2011年度も(社)日本フィットネス協会、アファ・ジャパンの主要団体と協力連携して次の事業を行った。

- ①機関紙「AFC PRESS」の年4回の発行と編集協力
- ②東北地区指導者を対象に東日本大震災の復興支援助成事業を実施

VI. 広報活動の推進

1. NHK 定時番組等の制作協力

(1) 定時番組「ドゥ！エアロビック」の制作協力

- ・2003年10月にスタートした全国各地の街や職場を紹介し、参加者と一緒にエアロビックを楽しむ公開収録によるNHKBSプレミアムの定時番組「ドゥ！エアロビック」の制作協力を行った。
- ・8月に、静岡県袋井市でスローエアロビックを楽しむ市民の収録を行った。
- ・8月に、岩手県陸前高田市の避難所で市民や中学生と収録を行った。
- ・11月に、スポレクエコとちぎ2011開場での番組収録を行った。

【放送】 毎週月曜日、NHK BSプレミアム 午後12:00～12:24(24分番組)

- 【内容】 全国各地を訪問する公開収録形式
【出演者】 知念かおる、杉田欣也 他

2. JAF 会員誌『スマイル』の発行

- ・本連盟会員のための情報誌として 1998 年 7 月に創刊。本年も年 4 回発行した。

| | | |
|------|------------|-------------|
| 52 号 | 4 月 1 日発行 | 各 5,000 部発行 |
| 53 号 | 7 月 1 日発行 | |
| 54 号 | 10 月 1 日発行 | |
| 55 号 | 1 月 1 日発行 | |

VII. その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. JAF 表彰の授賞式の開催

- ・2011 年度 JAF 表彰は 3 選手 1 団体の授賞となり、その授賞式を行った。

- 【授賞式】 平成 24 年 2 月 25 日（土）
【会場】 国立オリンピック記念青少年総合センター
【表彰内容】 ◆栄光賞
武内麻美、諏訪部和也、中澤彩子の 3 選手
◆表彰状
東北エアロビック協議会の 1 団体

2. 都道府県連盟の加盟状況

- ・2011 年度の都道府県連盟の加盟状況は、次の通りとなった。

- 【正加盟】 31 都府県 （会費未納 2 件）
【準加盟】 3 県 栃木、茨城、山口
【設立準備委員会】 6 県 新潟、愛媛、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
※未組織は 7 府県（京都、奈良、和歌山、徳島、高知、島根、佐賀）

3. 賛助会員（法人・個人・サークル）の推進

- ・2011 年度の、賛助会員数の状況は、次の通りとなった。

- 【法人賛助会員】 72 口 （企業 18、学校 10、登録クラブ 44）
【個人賛助会員】 1,898 人

4. 選手登録の推進

- ・2011 年度の選手登録状況は、次の通りとなった。

- 【選手登録数】 2,420 人 （毎年更新）

5. 競技登録クラブの推進

- ・2011 年度は募集休止のため、前年(22 年度)同様の実績となった。

- 【競技登録クラブ】 44 クラブ ※法人賛助会員に記載

以上

II. 決算報告

貸借対照表
平成 24年 3月 31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 65,491,652 | 68,343,779 | -2,852,127 |
| 受取手形 | 525,000 | - | 525,000 |
| 売掛金 | 546,000 | 537,600 | 8,400 |
| 未収入金 | 1,168,440 | 337,268 | 831,172 |
| 商品 | 1,589,970 | 884,384 | 705,586 |
| 貯蔵品 | 1,704,765 | 1,625,011 | 79,754 |
| 前払費用 | 2,645,083 | 3,509,060 | -863,977 |
| 立替金 | 66,585 | - | 66,585 |
| 流動資産合計 | 73,737,495 | 75,237,102 | -1,499,607 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 基本財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 6,716,017 | 7,314,176 | -598,159 |
| 大会運営積立資産 | 123,022,785 | 105,000,000 | 18,022,785 |
| 特定資産合計 | 129,738,802 | 112,314,176 | 17,424,626 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物附属設備 | 2 | 4,489 | -4,487 |
| 什器備品 | 1,397,561 | 4,173,507 | -2,775,946 |
| 電話加入権 | 291,200 | 291,200 | - |
| ソフトウェア | 1,409,168 | 2,501,668 | -1,092,500 |
| ソフトウェア仮勘定 | 3,000,000 | - | 3,000,000 |
| 保証金 | 2,667,600 | 2,667,600 | - |
| その他固定資産合計 | 8,765,531 | 9,638,464 | -872,933 |
| 固定資産合計 | 158,504,333 | 141,952,640 | 16,551,693 |
| 資産合計 | 232,241,828 | 217,189,742 | 15,052,086 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 8,288,530 | 4,335,279 | 3,953,251 |
| 未払費用 | 3,924,306 | 2,570,129 | 1,354,177 |
| 前受金 | 2,718,000 | 3,429,500 | -711,500 |
| 預り金 | 1,849,450 | 1,837,550 | 11,900 |
| 未払法人税等 | 1,000,000 | 70,000 | 930,000 |
| 未払消費税等 | 1,181,600 | 131,100 | 1,050,500 |
| 流動負債合計 | 18,961,886 | 12,373,558 | 6,588,328 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 7,599,798 | 8,788,451 | -1,188,653 |
| 固定負債合計 | 7,599,798 | 8,788,451 | -1,188,653 |
| 負債合計 | 26,561,684 | 21,162,009 | 5,399,675 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 寄付金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (うち基本財産への充当額) | (20,000,000) | (20,000,000) | (-) |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| (うち特定資産への充当額) | (123,022,785) | (105,000,000) | (18,022,785) |
| 一般正味財産合計 | 185,680,144 | 176,027,733 | 9,652,411 |
| 正味財産合計 | 205,680,144 | 196,027,733 | 9,652,411 |
| 負債及び正味財産合計 | 232,241,828 | 217,189,742 | 15,052,086 |

正味財産増減計算書

平成 23年 4月 1日から平成 24年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産運用益 | 8,000 | 20,000 | -12,000 |
| 基本財産受取利息 | 8,000 | 20,000 | -12,000 |
| ② 特定資産運用益 | 44,428 | 47,521 | -3,093 |
| 特定資産受取利息 | 44,428 | 47,521 | -3,093 |
| ③ 受取会費 | 15,294,700 | 16,490,839 | -1,196,139 |
| 正会員受取会費 | 3,600,000 | 2,800,000 | 800,000 |
| 賛助会員受取会費 | 11,694,700 | 10,441,800 | 1,252,900 |
| 登録クラブ受取会費 | - | 2,400,000 | -2,400,000 |
| 国際加盟費受取会費 | - | 849,039 | -849,039 |
| ④ 事業収益 | 208,288,893 | 234,534,322 | -26,245,429 |
| 競技会事業収益 | 149,327,778 | 165,096,315 | -15,768,537 |
| 認定登録事業収益 | 9,169,919 | 12,292,802 | -3,122,883 |
| 講習会等事業収益 | 46,195,818 | 53,279,550 | -7,083,732 |
| 商品売上事業収益 | 3,595,378 | 3,865,655 | -270,277 |
| ⑤ 受取補助金等 | 3,631,469 | 2,864,000 | 767,469 |
| 受取民間助成金 | 3,631,469 | 2,864,000 | 767,469 |
| ⑥ 雑収益 | 1,078,416 | 797,801 | 280,615 |
| 受取利息 | 29,613 | 43,582 | -13,969 |
| 雑収益 | 1,048,803 | 754,219 | 294,584 |
| 経常収益計 | 228,345,906 | 254,754,483 | -26,408,577 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | | | |
| 期首商品棚卸高 | 884,384 | 989,250 | -104,866 |
| 商品仕入高 | 1,857,811 | 870,808 | 987,003 |
| 期末商品棚卸高 | -1,613,592 | -1,037,530 | -576,062 |
| 普及・指導 | - | 23,456,891 | -23,456,891 |
| 競技会 | - | 86,688,615 | -86,688,615 |
| 講習会・指導者育成 | - | 6,458,117 | -6,458,117 |
| 給料手当 | 56,927,210 | 48,765,820 | 8,161,390 |
| 退職給付費用 | 2,142,937 | 4,602,211 | -2,459,274 |
| 法定福利費 | 7,879,394 | 7,349,794 | 529,600 |
| 福利厚生費 | 119,034 | 127,036 | -8,002 |
| 臨時雇賃金 | 12,840,152 | - | 12,840,152 |
| 外注費 | 64,098,810 | - | 64,098,810 |
| 表彰費 | 2,020,000 | - | 2,020,000 |
| 接待交際費 | 945,168 | 146,430 | 798,738 |
| 会議費 | 194,975 | 5,055 | 189,920 |
| 旅費交通費 | 13,467,806 | 2,362,527 | 11,105,279 |
| 出張手当 | 3,235,811 | 13,335 | 3,222,476 |
| 通信運搬費 | 2,971,514 | 1,264,492 | 1,707,022 |
| 減価償却費 | 4,369,961 | - | 4,369,961 |
| 消耗品費 | 6,021,977 | 3,027,131 | 2,994,846 |
| 賃借料 | 9,086,339 | 515,321 | 8,571,018 |
| 事務所賃借料 | 6,525,556 | 5,738,594 | 786,962 |
| 保険料 | 528,386 | 276,404 | 251,982 |
| 租税公課 | 635,775 | 9,000 | 626,775 |
| 支払寄付金 | 97,300 | - | 97,300 |
| 雑費 | 8,829,322 | 2,653,606 | 6,175,716 |
| 事業費計 | 204,066,030 | 194,282,907 | 9,783,123 |

正味財産増減計算書

平成 23年 4月 1日から平成 24年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| ② 管理費 | | | |
| 給料手当 | 5,644,064 | 16,800,000 | -11,155,936 |
| 退職給付費用 | 214,058 | 1,400,000 | -1,185,942 |
| 法定福利費 | 769,777 | 2,116,392 | -1,346,615 |
| 福利厚生費 | 84,630 | 62,705 | 21,925 |
| 接待交際費 | 236,258 | 405,911 | -169,653 |
| 会議費 | 50,050 | 94,040 | -43,990 |
| 旅費交通費 | 766,643 | 1,265,981 | -499,338 |
| 出張手当 | 78,501 | 32,859 | 45,642 |
| 通信運搬費 | 528,069 | 354,270 | 173,799 |
| 減価償却費 | 72,972 | 4,239,557 | -4,166,585 |
| 消耗品費 | 508,957 | 401,712 | 107,245 |
| 修繕費 | - | 12,267 | -12,267 |
| 賃借料 | 180,999 | 254,694 | -73,695 |
| 事務所賃借料 | 637,514 | 1,480,711 | -843,197 |
| 保険料 | 48,908 | 32,620 | 16,288 |
| 租税公課 | 73,600 | 495,165 | -421,565 |
| 支払寄付金 | - | 1,727,000 | -1,727,000 |
| 雑費 | 3,632,623 | 9,335,798 | -5,703,175 |
| 管理費計 | 13,527,623 | 40,511,682 | -26,984,059 |
| 経常費用計 | 217,593,653 | 234,794,589 | -17,200,936 |
| 当期経常増減額 | 10,752,253 | 19,959,894 | -9,207,641 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| ① 什器備品売却益 | - | 22,542 | -22,542 |
| 経常外収益計 | - | 22,542 | -22,542 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| ① 什器備品除却損 | - | 108,919 | -108,919 |
| ② 棚卸商品減耗損 | 99,842 | 153,146 | -53,304 |
| 経常外費用計 | 99,842 | 262,065 | -162,223 |
| 当期経常外増減額 | -99,842 | -239,523 | 139,681 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 10,652,411 | 19,720,371 | -9,067,960 |
| 法人税等 | 1,000,000 | 70,000 | 930,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | 9,652,411 | 19,650,371 | -9,997,960 |
| 一般正味財産期首残高 | 176,027,733 | 156,377,362 | 19,650,371 |
| 一般正味財産期末残高 | 185,680,144 | 176,027,733 | 9,652,411 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | - | - | - |
| 指定正味財産期首残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産期末残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| III 正味財産期末残高 | 205,680,144 | 196,027,733 | 9,652,411 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ①満期保有目的の債権・・・償却原価法(定額法)によっている。
 - ②その他の有価証券
 - ・時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。
 - ・時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
先入先出法に基づく原価法
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定率法
無形固定資産・・・定額法
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|-----------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定 期 預 金 | 20,000,000 | - | - | 20,000,000 |
| 小 計 | 20,000,000 | - | - | 20,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 退 職 給 付 引 当 資 産 | 7,314,176 | 1,801,841 | 2,400,000 | 6,716,017 |
| 大 会 運 営 積 立 資 産 | 105,000,000 | 68,035,332 | 50,012,547 | 123,022,785 |
| 小 計 | 112,314,176 | 69,837,173 | 52,412,547 | 129,738,802 |
| 合 計 | 132,314,176 | 69,837,173 | 52,412,547 | 149,738,802 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産 からの充当額) | (うち一般正味財産 からの充当額) | (うち負債に対応 する金額) |
|-----------------|-------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定 期 預 金 | 20,000,000 | (20,000,000) | (-) | (-) |
| 小 計 | 20,000,000 | (20,000,000) | (-) | (-) |
| 特定資産 | | | | |
| 退 職 給 付 引 当 資 産 | 6,716,017 | (-) | (-) | (6,716,017) |
| 大 会 運 営 特 定 資 産 | 123,022,785 | (-) | (123,022,785) | (-) |
| 小 計 | 129,738,802 | (-) | (123,022,785) | (6,716,017) |
| 合 計 | 149,738,802 | (20,000,000) | (123,022,785) | (6,716,017) |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 取 得 価 額 | 減価償却累計額 | 当 期 末 残 高 |
|-------------|------------|------------|-----------|
| 建 物 附 属 設 備 | 448,532 | 448,530 | 2 |
| 什 器 備 品 | 15,742,800 | 14,345,239 | 1,397,561 |
| ソ フ ト ウ ェ ア | 5,908,600 | 4,499,432 | 1,409,168 |
| 合 計 | 22,099,932 | 19,293,201 | 2,806,731 |

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

| 銘 柄 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|-----------------|------------|------------|------|
| 三菱UFJ中期国債ファンド* | 30,019,055 | 30,019,055 | - |
| 第293回利付国債 | 20,003,653 | 20,003,600 | -53 |
| 三菱UFJキャッシュファンド* | 18,000,077 | 18,000,077 | - |
| 合 計 | 68,022,785 | 68,022,732 | -53 |

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|------------------------|--------------------|-------|-----------|-----------|-------|
| 助成金 | | | | | |
| スポーツ振興基金助成金 | 独立行政法人日本スポーツ振興センター | - | 1,248,000 | 1,248,000 | - |
| スポーツ学等研究助成金 | 公益財団法人ミス/スポーツ振興財団 | - | 1,000,000 | 1,000,000 | - |
| 浜松市制100周年記念事業 | 浜松市 | - | 1,000,000 | 1,000,000 | - |
| 委託金 | | | | | |
| 公認スポーツ指導者講師競技別全国研修会委託金 | 公益財団法人日本体育協会 | - | 383,469 | 383,469 | - |
| 合 計 | | - | 3,631,469 | 3,631,469 | - |

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

| 属 性 | 法人等の名称 | 住 所 | 資産総額(円) | 事業の内容又は職業 | 議決権の所有の割合 |
|---------------------|---------------|-----------------------|-----------|---------------|-----------|
| 理事が議決権の過半数を所有している会社 | (株)エフネット総合研究所 | 神奈川県川崎市麻生区岡上410-3-416 | 5,299,161 | スポーツ施設等の企画・開発 | - |

| 関連当事者との関係 | 取引の内容 | 取引金額(円) | 科 目 | 期末残高(円) |
|-----------|----------------------------|-----------|-----|---------|
| 役員の兼務 | 組織・広報部事業に関する統括・管理業務等の委託(注) | 6,000,000 | - | - |

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注)独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件で行っている。

財産目録
平成 24年 3月 31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | |
|---|-------------|-------------|
| I. 資産の部 | | |
| 1. 流動資産 | | |
| 現金預金 | | |
| 現金 現金手許有高 | 2,886,987 | |
| 普通預金 みずほ銀行 祐天寺支店 | 62,187,396 | |
| 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 199,000 | |
| 郵便振替 ゆうちょ銀行 品川支店 | 218,269 | |
| 受取手形 | 525,000 | |
| 売掛金 指導教本他 | 546,000 | |
| 未収入金 平成23年度競技会協賛金他 | 1,168,440 | |
| 商 品 新エアロビック技能検定セット@737.10*428枚 指導教本@1,195.95*220冊 | 1,589,970 | |
| キティシャツ@1,646*97枚 採点規則2009-2012@1,428*71冊 | | |
| Jr技術教程DVD@553.35*215枚 Jr技術教程ガイド@460.25*218冊 | | |
| キッズJr指導ガイド@644*159冊 キッズJr指導DVD@300*185枚 | | |
| スポーツエアロビック規程曲集@770*93枚 スキルアップDVD@1,076*52枚 | | |
| 技術教程DVD@254.10*215枚 技術教程ガイド@271.25*199冊 | | |
| 技能検定会CD@2,205*16枚 競技ルーティン採点事例セット@600*50冊 | | |
| 技Tシャツ@1,266*23枚 マホリック対策DVD@2,450*8枚 | | |
| JAFエンブレム@6,300*2枚 審判員試験問題集回答@280*37冊 | | |
| 貯 蔵 品 スポーツタオル 739,830 検定バッジ 700,211 | 1,704,765 | |
| 日本代表ピンバッジ 122,830 会員カード 108,324 | | |
| 切手類 33,570 | | |
| 前払費用 平成24年度諸経費 | 2,645,083 | |
| 立替金 FIGライセンス料 | 66,585 | |
| 流動資産合計 | | 73,737,495 |
| 2. 固定資産 | | |
| (1)基本財産 | | |
| 定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 20,000,000 | |
| 基本財産合計 | 20,000,000 | |
| (2)特定資産 | | |
| 退職給付引当資産 定期積金 みずほ銀行 祐天寺支店 | 5,516,017 | |
| 定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 1,200,000 | |
| 大会運営積立資産 定期預金 みずほ銀行 祐天寺支店 | 35,000,000 | |
| 定期預金 三菱東京UFJ銀行 大井支店 | 20,000,000 | |
| 三菱UFJ中期国債ファンド 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱ | 30,019,055 | |
| 第293回利付国債 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱ | 20,003,653 | |
| 三菱UFJキャッシュファンド 三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱ | 18,000,077 | |
| 特定資産合計 | 129,738,802 | |
| (3)その他の固定資産 | | |
| 建物付属設備 可動間仕切り エフエム総研1 ハンテック1 | 2 | |
| 什器備品 エアロビックフロアH22年度 595,344 H16年度 180,003 | 1,397,561 | |
| フローパネル収納台車 530,433 セントバック 54,387 | | |
| パソコンサーバー 34,792 パソコン 2,602 | | |
| 電話加入権 03-5796-7521他 | 291,200 | |
| ソフトウェア 集計システムH20年度 517,500 H22年度 478,334 | 1,409,168 | |
| 選手登録システム 183,334 W/Cエントリー管理システム 230,000 | | |
| ソフトウェア仮勘定 会員管理システム | 3,000,000 | |
| 保証金 市川庄次(事務所) 2,667,600 | 2,667,600 | |
| その他の固定資産合計 | 8,765,531 | |
| 固定資産合計 | | 158,504,333 |
| 資産合計 | | 232,241,828 |
| II. 負債の部 | | |
| 1. 流動負債 | | |
| 未払金 事業経費他 | 8,288,530 | |
| 未払費用 従業員給与・社会保険料他 | 3,924,306 | |
| 前受金 24年度協賛金他 | 2,718,000 | |
| 預り金 社会保険料、源泉所得税他 | 1,849,450 | |
| 未払法人税等 | 1,000,000 | |
| 未払消費税等 | 1,181,600 | |
| 流動負債合計 | | 18,961,886 |
| 2. 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 7,599,798 | |
| 固定負債合計 | | 7,599,798 |
| 負債合計 | | 26,561,684 |
| 正味財産 | | 205,680,144 |

収支計算書

自 平成 23 年 4 月 1 日 至 平成 24 年 3 月 31 日

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|-------------------|-------------|-------------|------------|------------|
| I 事業活動収支の部 | | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | | |
| ① 基本財産運用収入 | 8,000 | 8,000 | - | |
| 基本財産利息収入 | 8,000 | 8,000 | - | |
| ② 特定資産運用収入 | 45,000 | 44,428 | 572 | |
| 特定資産利息収入 | 45,000 | 44,428 | 572 | |
| ③ 会費収入 | 15,490,000 | 15,294,700 | 195,300 | |
| 正会員会費収入 | 3,600,000 | 3,600,000 | - | |
| 賛助会員会費収入 | 11,890,000 | 11,694,700 | 195,300 | |
| ④ 事業収入 | 206,419,000 | 208,288,893 | -1,869,893 | |
| 競技会収入 | 148,990,000 | 149,327,778 | -337,778 | |
| 認定・登録料収入 | 10,210,000 | 9,169,919 | 1,040,081 | 資格登録・更新者の減 |
| 講習会等収入 | 44,469,000 | 46,195,818 | -1,726,818 | 講習会受講者の増 |
| 商品売上収入 | 2,750,000 | 3,595,378 | -845,378 | |
| ⑤ 補助金等収入 | 3,848,000 | 3,631,469 | 216,531 | |
| 民間助成金収入 | 3,848,000 | 3,631,469 | 216,531 | |
| ⑥ 雑収入 | 1,009,000 | 1,078,416 | -69,416 | |
| 受取利息 | 39,000 | 29,613 | 9,387 | |
| 雑収入 | 970,000 | 1,048,803 | -78,803 | |
| 事業活動収入計 | 226,819,000 | 228,345,906 | -1,526,906 | |
| 2. 事業活動支出 | | | | |
| ① 事業費支出 | 196,779,000 | 199,407,284 | -2,628,284 | |
| 商品仕入高支出 | 1,113,000 | 1,857,811 | -744,811 | |
| 給料手当支出 | 56,912,000 | 56,927,210 | -15,210 | |
| 退職給付費用支出 | 823,000 | 823,346 | -346 | |
| 法定福利費支出 | 7,930,000 | 7,879,394 | 50,606 | |
| 福利厚生費支出 | 139,000 | 119,034 | 19,966 | |
| 臨時雇賃金支出 | 12,071,000 | 12,840,152 | -769,152 | |
| 外注費支出 | 64,327,000 | 64,098,810 | 228,190 | |
| 表彰費支出 | 2,020,000 | 2,020,000 | - | |
| 接待交際費支出 | 552,000 | 945,168 | -393,168 | |
| 会議費支出 | 301,000 | 194,975 | 106,025 | |
| 旅費交通費支出 | 14,178,000 | 13,467,806 | 710,194 | |
| 出張手当支出 | 2,958,000 | 3,235,811 | -277,811 | |
| 通信運搬費支出 | 3,232,000 | 2,971,514 | 260,486 | |
| 消耗品費支出 | 4,937,000 | 6,323,575 | -1,386,575 | 事業用備品の増 |
| 賃借料支出 | 9,059,000 | 9,086,339 | -27,339 | |
| 事務所賃借料支出 | 6,515,000 | 6,525,556 | -10,556 | |
| 保険料支出 | 524,000 | 528,386 | -4,386 | |
| 租税公課支出 | 590,000 | 635,775 | -45,775 | |
| 支払寄付金支出 | 97,000 | 97,300 | -300 | |
| 雑費支出 | 8,501,000 | 8,829,322 | -328,322 | |
| ② 管理費支出 | 15,583,000 | 15,817,271 | -234,271 | |
| 給料手当支出 | 5,659,000 | 5,644,064 | 14,936 | |
| 退職給付費用支出 | 2,723,000 | 2,722,302 | 698 | |
| 法定福利費支出 | 779,000 | 769,777 | 9,223 | |
| 福利厚生費支出 | 24,000 | 84,630 | -60,630 | |
| 接待交際費支出 | 92,000 | 236,258 | -144,258 | |
| 会議費支出 | 42,000 | 50,050 | -8,050 | |
| 旅費交通費支出 | 677,000 | 766,643 | -89,643 | |
| 出張手当支出 | 89,000 | 78,501 | 10,499 | |
| 通信運搬費支出 | 551,000 | 511,629 | 39,371 | |
| 消耗品費支出 | 574,000 | 366,073 | 207,927 | |
| 賃借料支出 | 179,000 | 180,999 | -1,999 | |
| 事務所賃借料支出 | 638,000 | 637,514 | 486 | |
| 保険料支出 | 49,000 | 48,908 | 92 | |
| 租税公課支出 | 72,000 | 73,600 | -1,600 | |
| 雑費支出 | 3,435,000 | 3,646,323 | -211,323 | |
| ③ その他事業活動支出 | 3,350,000 | 1,000,000 | 2,350,000 | |
| 法人税等支出 | 3,350,000 | 1,000,000 | 2,350,000 | |
| 事業活動支出計 | 215,712,000 | 216,224,555 | -512,555 | |
| 事業活動収支差額 | 11,107,000 | 12,121,351 | -1,014,351 | |

収支計算書

自 平成 23年 4月 1日 至 平成 24年 3月 31日

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 異 | 備 考 |
|---------------|-------------|-------------|------------|-----------|
| II 投資活動収支の部 | | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | | |
| ① 特定資産取崩収入 | 52,400,000 | 52,412,547 | -12,547 | |
| 退職給付引当資産取崩収入 | 2,400,000 | 2,400,000 | - | |
| 大会運営積立資産取崩収入 | 50,000,000 | 50,012,547 | -12,547 | |
| 投資活動収入計 | 52,400,000 | 52,412,547 | -12,547 | |
| 2. 投資活動支出 | | | | |
| ① 特定資産取得支出 | 61,831,000 | 69,837,173 | -8,006,173 | |
| 退職給付引当資産取得支出 | 1,802,000 | 1,801,841 | 159 | |
| 大会運営積立資産取得支出 | 60,029,000 | 68,035,332 | -8,006,332 | 大会運営積立金の増 |
| ② 固定資産取得支出 | 4,175,000 | 3,570,000 | 605,000 | |
| 什器備品取得支出 | 600,000 | 570,000 | 30,000 | |
| ソフトウェア仮勘定取得支出 | 3,325,000 | 3,000,000 | 325,000 | |
| 繰延資産取得支出 | 250,000 | - | 250,000 | |
| 投資活動支出計 | 66,006,000 | 73,407,173 | -7,401,173 | |
| 投資活動収支差額 | -13,606,000 | -20,994,626 | 7,388,626 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | | |
| 財務活動収入計 | - | - | - | |
| 2. 財務活動支出 | | | | |
| 財務活動支出計 | - | - | - | |
| 財務活動収支差額 | - | - | - | |
| IV 予備費支出 | | | | |
| 当期収支差額 | -2,499,000 | -8,873,275 | 6,374,275 | |
| 前期繰越収支差額 | 60,354,000 | 60,354,149 | -149 | |
| 次期繰越収支差額 | 57,855,000 | 51,480,874 | 6,374,126 | |

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務が含まれる。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

| 科 目 | 前 期 末 残 高 | 当 期 末 残 高 |
|-----------------|------------|------------|
| 現 金 預 金 | 68,343,779 | 65,491,652 |
| 受 取 手 形 | - | 525,000 |
| 売 掛 金 | 537,600 | 546,000 |
| 未 収 入 金 | 337,268 | 1,168,440 |
| 前 払 費 用 | 3,509,060 | 2,645,083 |
| 立 替 金 | - | 66,585 |
| 合 計 | 72,727,707 | 70,442,760 |
| 未 払 金 | 4,335,279 | 8,288,530 |
| 未 払 費 用 | 2,570,129 | 3,924,306 |
| 前 受 金 | 3,429,500 | 2,718,000 |
| 預 り 金 | 1,837,550 | 1,849,450 |
| 未 払 法 人 税 等 | 70,000 | 1,000,000 |
| 未 払 消 費 税 等 | 131,100 | 1,181,600 |
| 合 計 | 12,373,558 | 18,961,886 |
| 次 期 繰 越 収 支 差 額 | 60,354,149 | 51,480,874 |

Ⅲ. 監査報告書

監査報告書

社団法人 日本エアロビック連盟

理事長 知念 かおる 殿

平成24年5月22日

社団法人 日本エアロビック連盟

監事 中村 邦夫



社団法人 日本エアロビック連盟

監事 今村 敬



私たちは、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。

平成24年度 事業・決算報告書

平成24年 4月 1日から
平成25年 3月31日まで

I. 事業報告

II. 決算報告

1. 貸借対照表
2. 貸借対照表内訳表
3. 正味財産増減計算書
4. 正味財産増減計算書内訳表
5. 財務諸表に対する注記
6. 附属明細書
7. 財産目録

III. 監査報告書

公益社団法人日本エアロビック連盟

I. 事業報告

平成 24 年度(2012)の事業報告

I. エアロビクの普及・振興に関する事業

1. 生涯エアロビク事業の推進

(1) スポーツ拠点づくり推進事業(袋井事業)

- 平成 17 年(2005 年)に袋井市でスタートしたスポーツ拠点づくり推進事業は 8 年目を迎えた。中核事業の「JOC ジュニアオリンピックカップ」開催の他、地域活性化を目的に袋井市と袋井市商工会議所等の協力、凸版印刷(株)等の支援を得て市民を対象に各種エアロビク普及事業の支援をすすめた。
- これらの事業推進は、エアロビク指導者組織の「袋井エアロビク協議会」が務めた。また、今後、これらの事業を効果的にすすめるために袋井市エアロビク連盟を設立し、袋井市スポーツ協会に加盟した。

【主な事業実績】

- 子ども達の体験エアロビクに延べ 5,700 名が体験した。
- 市内の中学校、4 校中 3 校でダンス授業に取り組んだ。
- 市内の 7 幼稚園 5 小学校で、放課後の児童クラブや体育授業にエアロビク取り入れた。
- スローエアロビク等の講師派遣実績が 147 回となった。
- 市内からも JOC 大会へ出場する選手が出てきた。
- 市内及び近隣在住選手向けに初のスポーツクリニックを開催した。
- JOC カップ全国大会で 130 名の市民デモ、143 名の浅羽東小のデモを行った。

(2) 「みんなでエアロビク第 5 回全国ビデオコンクール」の開催

- 凸版印刷(株)の支援を得て「みんなでエアロビク第 5 回全国ビデオコンクール」を開催した。

| | |
|-------|--|
| 【後 援】 | 文部科学省、袋井市、日本体育協会 他 |
| 【期 間】 | 9 月～11 月 |
| 【応募数】 | 91 チーム(参加者 3,870 名) |
| 【表 彰】 | グランプリ(最優秀賞)5 部門 5 チーム、優秀作品賞 5 部門 5 チーム、入選 4 部門 6 チーム、審査員特別賞 5 チームを表彰 |

(3) 「エアロビク技能検定会」の開催とガイドの改訂

- 日頃の教室やレッスンにおいて技術向上の目安やモチベーションを目的としたエアロビク技能検定会を、都道府県連盟および関係団体と協力して年間を通して実施した。
- エアロビク検定の改訂に伴い、9 月までは主管団体が第 2 版か第 3 版のどちらかを選択、10 月以降は第 3 版に切り替えて実施した。

①2012 年度 第 2 版エアロビク検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|-----|-----|-----|-----|
| 10 | 10 | 10 | 10 |
| 9 | 13 | 13 | 13 |
| 8 | 17 | 17 | 17 |
| 7 | 10 | 7 | 7 |
| 6 | 122 | 109 | 109 |
| 5 | 215 | 72 | 71 |
| 4 | 16 | 8 | 8 |
| 3 | 16 | 9 | 9 |
| 2 | 6 | 3 | 3 |
| 1 | 9 | 5 | 5 |
| 合 計 | 434 | 253 | 253 |

②2012年度 第3版エアロビック検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|----|-----|-----|-----|
| 5 | 177 | 177 | 177 |
| 4 | 239 | 206 | 206 |
| 3 | 138 | 125 | 123 |
| 2 | 48 | 47 | 47 |
| 1 | 8 | 6 | 6 |
| 特 | 10 | 3 | 3 |
| 合計 | 620 | 564 | 562 |

③2012年度ジュニア検定実績(人)

| 級 | 受検者 | 合格者 | 登録者 |
|----|-------|-------|-------|
| 5 | 440 | 433 | 398 |
| 4 | 407 | 332 | 297 |
| 3 | 316 | 235 | 214 |
| 2 | 274 | 139 | 139 |
| 1 | 156 | 88 | 88 |
| 合計 | 1,593 | 1,227 | 1,136 |

【通算受検者数】 37,454人

【通算登録者数】 26,278人

(4)「アダプテッドエアロビック」の普及および協力

①「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2013」の共催

- ・障害者と健常者が一緒になってエアロビックを楽しむ「アダプテッドエアロビック・ナショナルフェスタよこはま2013」を神奈川県エアロビック連盟と共催で行った。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 【主催】 | 神奈川県エアロビック連盟(共催) |
| 【後援】 | 神奈川県、日本体育協会、日本身体障害者スポーツ協会他 |
| 【期日】 | 12月9日(日)、シンポジウム 3月3日(日)、エアロビック大会 |
| 【会場】 | 横浜ラポール |
| 【参加者】 | シンポジウム50名、エアロビック大会650名 |

②ナイスハート基金の催事協力と指導者派遣

- ・(公財)ナイスハート基金が主催する障害者と健常者がスポーツを通じて交流する「ふれあいのスポーツ広場」への協力と指導者派遣を次の通り行った。

| | | | |
|------|-----------|------------------|----------|
| 群馬大会 | 5月12日(土) | 群馬県勤労福祉センター | 参加者 312名 |
| 山口大会 | 5月13日(日) | ソルトアリーナ防府 | 参加者 469名 |
| 岐阜大会 | 6月6日(水) | わかくさプラザ | 参加者 330名 |
| 愛媛大会 | 6月13日(水) | ツインドーム重信 | 参加者 206名 |
| 青森大会 | 6月25日(月) | 新青森総合運動公園マエダアリーナ | 参加者 385名 |
| 滋賀大会 | 9月29日(土) | 竜王町ドラゴンスポーツ | 参加者 329名 |
| 佐賀大会 | 10月29日(月) | 佐賀県体育館 | 参加者 350名 |
| 島根大会 | 11月5日(月) | 松江市総合体育館 | 参加者 430名 |
| 大阪大会 | 11月21日(水) | 大阪府立体育館 | 参加者 416名 |
| 沖縄大会 | 3月6日(水) | 宜野湾市立体育館 | 参加者 427名 |

(5)糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントの協力

- ・日本イーライリリー社の社会貢献活動として、糖尿病の運動療法を楽しく行う啓発イベントを下

記の3会場で協力して行った。

| | | | |
|------|-----------|-------------------|---------|
| 福井会場 | 10月14日(日) | アオッサ6Fレクリエーションルーム | 参加者 45名 |
| 東京会場 | 10月27日(土) | 新宿住友ホール | 参加者 63名 |
| 京都会場 | 11月24日(土) | 国立京都国際会館イベントホール | 参加者 71名 |

2. 競技エアロビック事業の推進

(1) 「スズキワールドカップ2012 第23回世界エアロビック選手権大会」の開催

- ・「SUZUKI WORLD CUP 2012第23回世界エアロビック選手権大会」は「FIG ワールドシリーズ東京国際」を併設して、国際エアロビック連盟(IAF)、国際体操連盟(FIG)と共同開催した。

| | |
|-------|--|
| 【期 日】 | 予選4月21日(土)、決勝4月22日(日) |
| 【会 場】 | 東京体育館 |
| 【参 加】 | 18ヶ国、164名 |
| 【成 績】 | <ul style="list-style-type: none"> ・AG1 女子シングル 優勝、準優勝 ・AG2 女子シングル 優勝、準優勝 ・AG2 男子シングル 優勝、5位 ・AG2 トリオ 優勝、準優勝 ・一般男子シングル 8位、 ・一般女子シングル 5位、 ・ミックスペア 6位、8位 ・トリオ 7位 |
| 【放 送】 | NHK BS-1 4月28日(土) 18:00~18:50 |

(2) 「スズキジャパンカップ2012 第29回全日本エアロビック選手権大会」の開催

- ・国内の競技エアロビックの日本一を競うスズキジャパンカップ・全日本エアロビック選手権大会は第29回大会を迎え、次の通り都道府県大会、地区大会、全国大会を開催した。
なお、今回は全国大会の会場を関西初として尼崎市で行った。

<都道府県大会>

- ・4月~7月の期間に全国都道府県において各都道府県大会を実施した。

<地区大会>

| | | | |
|---------|-----------|-------------------|----------|
| 東日本地区大会 | 9月9日(日) | 日本工学院八王子専門学校総合体育館 | 出場者 189名 |
| 東北地区大会 | 9月16日(日) | 仙台市泉総合運動場体育館 | 出場者 48名 |
| 九州地区大会 | 9月29日(土) | 福岡市九電記念体育館 | 出場者 93名 |
| 北海道地区大会 | 9月30日(日) | 北翔大学第1体育館アリーナ | 出場者 64名 |
| 中部地区大会 | 10月20日(土) | 中村スポーツセンター | 出場者 205名 |
| 西日本地区大会 | 12月22日(土) | ベイコム総合体育館 | 出場者 128名 |

<全国大会>

| | |
|-------|-------------------------------|
| 【期 日】 | 12月23日(日) |
| 【会 場】 | ベイコム総合体育館(兵庫県尼崎市) |
| 【出場者】 | 179名 |
| 【放 送】 | NHKBS-1 12月30日(日) 17:00~18:49 |

(3) 「JOC ジュニアオリンピックカップ・全国エアロビック選手権大会 in 袋井2013」の開催

- ・ユースの頂点を競う「JOC ジュニアオリンピックカップ全国エアロビック選手権大会」は、静岡県袋井市と共催して第8回大会を開催した。
- ・本大会は総務省・文部科学省の「スポーツ拠点づくり推進事業」として開催することから、袋井市をはじめ袋井市内の関係団体と実行委員会を組織して、開催準備と運営等をすすめた。

<予選大会>

- ・シングル、トリオ部門の予選を「スポーツエアロビック 2012」において行った。
- ・チーム部門及びAG1 男子シングル部門の予選を「JOC ジュニアオリンピックカップ・チーム部門・AG1 男子シングル部門予選」として前日に行った。

| | |
|-------|----------------------------------|
| 【期 日】 | 1月19日(土) |
| 【会 場】 | エコパアリーナ サブアリーナ |
| 【参加者】 | チーム 14 チーム、112名 / AG1 男子シングル 12名 |

<全国大会>

| | |
|-------|-----------------|
| 【期 日】 | 1月20日(日) |
| 【会 場】 | エコパアリーナ メインアリーナ |
| 【参加者】 | 308名 |

(4)「第12回全日本学生エアロビック選手権大会」「第3回全日本高等学校エアロビック選手権大会」の開催

- ・学生エアロビックの祭典として、学生エアロビック選手権大会実行委員会と共催して第12回大会を開催した。

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 【期 日】 | 11月18日(日) |
| 【会 場】 | 玉川大学大体育館(東京都町田市) |
| 【参加者】 | 大学、短大、専門学校、高専：28校、153名 高校：26校、28名 |

(5)「第8回全国フライト選手権大会」の開催

- ・「スポーツエアロビック 2012」フライト部門上位者による第8回全国フライト選手権大会を東京都町田市で開催した。

| | |
|-------|-------------------|
| 【期 日】 | 3月9日(土) |
| 【会 場】 | 町田市立総合体育館(東京都町田市) |
| 【参加者】 | 349名 |

(6)「スポーツエアロビック 2012」の開催

- ・エアロビックの総合的な大会として「スポーツエアロビック 2012」を全国10会場で開催した。また、各種全国大会の予選も兼ねて行った。

| | | | |
|---------|-------------------|----------------|----------|
| 宮城オープン | 5月5日(祝) フライト | 仙台市泉総合運動場体育館 | 参加者 179名 |
| | 5月6日(日) 競技ルーティン | | 参加者 88名 |
| 静岡オープン | 5月26日(土) フライト | 袋井市民体育館 | 参加者 240名 |
| | 5月27日(日) 競技ルーティン | | 参加者 170名 |
| 埼玉オープン | 6月2日(土) 競技ルーティン | さいたま市記念総合体育館 | 参加者 149名 |
| | 6月3日(日) フライト | | 参加者 180名 |
| 大阪オープン | 6月23日(土) フライト | ひまわりドーム | 参加者 345名 |
| 東京オープン | 7月21日(土) 競技ルーティン | 新宿スポーツセンター | 参加者 294名 |
| 北海道オープン | 7月28日(土) フライト | 北翔大学第1体育館アリーナ | 参加者 193名 |
| | 7月29日(日) 競技ルーティン | | 参加者 240名 |
| 東京オープン | 8月4日(土) フライト | 新宿スポーツセンター | 参加者 481名 |
| 大阪オープン | 9月1日(土) 競技ルーティン | 大阪市中央体育館サブアリーナ | 参加者 258名 |
| 鳥取オープン | 11月3日(土) フライト | 三朝町役場総合体育館 | 参加者 286名 |
| | 11月4日(日) 競技ルーティン | | 参加者 180名 |
| 福岡オープン | 11月24日(土) フライト | 福岡市九電記念体育館 | 参加者 287名 |
| | 11月25日(日) 競技ルーティン | | 参加者 165名 |

【全国大会予選の内容】

- ①JOC ジュニアオリンピックカップ、シングル・トリオ部門予選
- ②全国フライト・エアロビック選手権大会予選
- ③全国ユースフライト・エアロビック選手権大会予選

【チームチャレンジ】

- ・北海道オープンでは、生涯エアロビック普及の観点からチームチャレンジを実施、19 チーム、151 名が参加。

(7) 「一般男女シングル部門第二次日本代表選手選考会／一般グループ部門日本代表選考会」

- ・スズキジャパンカップ 2012 の 2 位、3 位、スポーツエアロビック 2012 の各大会第 1 位選手による選考会とグループ部門の代表選考会を行った。

| | |
|-------|---|
| 【期 日】 | 12 月 24 日(祝月) |
| 【会 場】 | 兵庫県立文化体育館多目的ホール |
| 【出場者】 | 一般男子シングル 6 名、一般女子シングル 9 名 一般グループ 2 組 |

(8) 「登録クラブ選手権大会」の開催

- ・競技エアロビック登録クラブの進展に伴いクラブの強化と活性化を目的に第 3 回大会を開催。

| | |
|-------|-------------|
| 【期 日】 | 7 月 22 日(日) |
| 【会 場】 | 新宿スポーツセンター |
| 【参加者】 | 197 名 |

II. エアロビックの国際競技大会等に対する代表参加者の派遣並びに選手強化活動

1. アジア選手権大会への選手団の派遣

- ・AGU(アジア体操連合)が主催する第 3 回アジア選手権大会への派遣を行った。

| | |
|-------|---|
| 【期 間】 | 10 月 17 日～21 日(5 日間) |
| 【開催地】 | インドネシア・パレンバン |
| 【派遣数】 | 17 名(選手、審判・役員) |
| 【成 績】 | ・AG1 女子シングル 優勝、準優勝 ・AG1 男子シングル 優勝、準優勝 ・AG1 トリオ 優勝、準優勝 ・女子シングル 準優勝、3 位 ・男子シングル 6 位 |

2. 選手強化合宿(夏合宿)の開催

- ・ルーマニア体操協会からコーチ、アシスタント 2 名を招聘し、全日本の強化選手を中心に強化合宿を行った。

| | |
|-------|--|
| 【期 間】 | 8 月 6 日～10 日(5 日間) |
| 【開催地】 | 群馬県太田市、太田スポーツアカデミー |
| 【参加者】 | 指定強化選手、コーチ 46 名 |
| 【指 導】 | マリア・フメア(ナショナルコーチ) マリア・ピアンカ(アシスタントコーチ) |

Ⅲ. エアロビクの講習会の開催及び指導者の育成

1. 公認エアロビク指導者養成事業の推進

(1) 専門科目の検定試験等の実施

- ・各承認校、認定校の公認エアロビク指導員の検定試験をビデオ審査により実施した。

■承認校の公認エアロビク指導員・教師専門科目（検定試験）

| | |
|--------------------|--------|
| 北翔大学 | 受検者 3名 |
| 北翔短期大学 | 受検者 3名 |
| 専門学校北海道体育大学校 | 受検者 3名 |
| 愛知学院大学 | 受検者 4名 |
| 至学館大学短期大学部 | 受検者 5名 |
| トライデントスポーツ医療看護専門学校 | 受検者 4名 |
| 大阪社会体育専門学校 | 受検者 1名 |
| 東亜大学 | 受検者 4名 |

■認定校の公認エアロビク指導員専門科目（検定試験）

| | |
|-----------|---------|
| 盛岡大学短期大学部 | 受検者 11名 |
| 作新学院大学 | 受検者 10名 |
| 園田学園女子大学 | 受検者 29名 |

(2) 「JAF National Camp 2013」の開催

- ・指導者養成に関する各種講習会・研修会を集中的に行う「JAF National Camp 2013」を開催した。

| | | |
|-------|-------------------------|---------|
| 【期 間】 | 2月9日(土)～17日(日) | |
| 【会 場】 | 国立オリンピック記念青少年総合センター | |
| 【内 容】 | 公認エアロビク上級コーチ新規養成講習会 | 受講者 12名 |
| | TA 新規養成講習会 | 受講者 25名 |
| | 指導専門委員中央研修会 | 受講者 56名 |
| | TA 中央研修会(プログラムA) | 受講者 43名 |
| | TA 中央研修会(プログラムB) | 受講者 47名 |
| | TA 中央研修会(プログラムC) | 受講者 31名 |
| | 審判員中央研修会(A B級) | 受講者 47名 |
| | 審判員中央研修会(C級) | 受講者 93名 |
| | 技能検定員中央研修会(A) | 受講者 23名 |
| | 技能検定員中央研修会(B) | 受講者 17名 |
| | ジュニア技能検定員中央研修会 | 受講者 10名 |
| | JAF エアロビクセミナー(プログラムA) | 受講者 8名 |
| | JAF エアロビクセミナー(プログラムB) | 受講者 13名 |
| | JAF エアロビクセミナー(プログラムC) | 受講者 29名 |
| | エアロビク技能検定会 | 受検者名 |
| | JAF SUPER CAMP ミニB | 受講者 8名 |
| | JAF SUPER CAMP ミニC | 受講者 5名 |
| | JAF SUPER CAMP フライトA | 受講者 69名 |
| | JAF SUPER CAMP フライトB | 受講者 77名 |
| | JAF SUPER CAMP フライトミニC | 受講者 25名 |
| | JAF SUPER CAMP 競技ルーティンA | 受講者 16名 |

| | | |
|--|---------------------------|---------|
| | JAF SUPER CAMP 競技ルーティンB | 受講者 33名 |
| | JAF SUPER CAMP 競技ルーティンミニC | 受講者 14名 |
| | ルール説明会 A | 受講者 20名 |
| | ルール説明会 B | 受講者 13名 |
| | ルール説明会 C | 受講者 26名 |

(3) 県連盟による「C級審判員養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-----------|-----|--------|
| 群馬会場 | 8月18日～19日 | SKJ | 受講者 4名 |
|------|-----------|-----|--------|

(4) 県連盟による「C級審判員資格更新研修会」の開催

| | | | |
|-------|-------|-------------|---------|
| 福島会場 | 7月8日 | 福島県エアロビック連盟 | 受講者 8名 |
| 北海道会場 | 3月10日 | 北海道エアロビック連盟 | 受講者 3名 |
| 大阪会場 | 3月30日 | 大阪府エアロビック連盟 | 受講者 20名 |
| 熊本会場 | 3月31日 | 熊本県エアロビック連盟 | 受講者 12名 |

(5) 「キッズ・ジュニアエアロビック指導員養成講習会」の開催

| | | | |
|------|-----------|--------------|---------|
| 東京会場 | 6月16日～17日 | 有明スポーツセンター | 受講者 8名 |
| 岩手会場 | 通年 | 修紅短期大学 | 受講者 51名 |
| 山梨会場 | 8月4日～5日 | 山梨学院短期大学 | 受講生 21名 |
| 東京会場 | 2月13日～14日 | 日本工学院八王子専門学校 | 受講生 46名 |

(6) 「アクアエアロビック指導員(Ⅱ種)養成講習会」の開催

| | | | |
|------|----|----------|---------|
| 兵庫会場 | 通年 | 園田学園女子大学 | 受講者 46名 |
|------|----|----------|---------|

3. 指導者資格更新に関するセミナーの推進

(1) 「JAF エアロビックセミナー」の開催

・JAF 認定ならびに公認指導者の資格更新を兼ねて JAF エアロビックセミナーを開催した。

| | | | |
|---------|-----------|-------------|---------|
| 東京会場 | 6月17日(日) | 有明スポーツセンター | 受講生 32名 |
| 群馬会場※ | 8月22日(日) | ぐんま武道館 | 受講生 28名 |
| 東京会場 | 8月25日(土) | 有明スポーツセンター | 受講生 36名 |
| 神奈川県会場※ | 10月28日(日) | 神奈川県立スポーツ会館 | 受講生 20名 |
| 熊本会場※ | 11月11日(日) | 益城町総合体育館 | 受講生 10名 |
| 千葉会場※ | 11月25日(日) | 千葉ポートアリーナ | 受講生 3名 |
| 北海道会場※ | 3月3日(日) | 札幌市中島体育センター | 受講生 10名 |

※は道県連盟が主管して実施

IV. 競技力向上に関する事業の推進

1. 「スーパーキャンプ」の開催

・競技力の底辺拡大と強化を目的とした競技エアロビックの「スーパーキャンプ」を全国6地区7会場で開催した。

| | | | |
|------|------------------|------------|---------|
| 東京会場 | 10月6日(土)フライトコース | 松江区民プラザ | 参加者 46名 |
| 大阪会場 | 10月14日(土)フライトコース | 大阪社会体育専門学校 | 参加者 56名 |
| 静岡会場 | 12月8日(土)フライトコース | 静岡県長田体育館 | 参加者 52名 |

| | | | |
|-------|-----------------|--------------------|---------|
| 名古屋会場 | 3月3日(土)フライトコース | 名古屋市 天白スポーツセンター | 参加者 56名 |
| 福岡会場 | 3月23日(土)フライトコース | 福岡市博多体育館 | 参加者 47名 |
| 福岡会場 | 3月24日(日)ユース競技 | アクション福岡 | 参加者 21名 |
| 仙台会場 | 3月24日(土)フライトコース | 仙台市若林体育館 | 参加者 80名 |

2. 「FIG 大陸間国際審判員養成講習会」等への派遣

(1) FIG 大陸間国際審判員養成講習会

| | |
|-------|---------------|
| 【期 間】 | 12月2日～6日(6日間) |
| 【場 所】 | チェコ・プラハ |
| 【参加者】 | 2名 |

(2) FIG 国際審判員養成講習会

| | |
|-------|----------------|
| 【期 間】 | 3月15日～18日(4日間) |
| 【場 所】 | オーストラリア・キャンペラ |
| 【参加者】 | 9名 |

3. エアロビック競技・採点規則の改訂

- ・国際ルール「FIG C. O. P. 2013-2016」の改訂に基き、審判委員会を中心に国内ルールの改訂をすすめる「エアロビック公式競技・採点規則 2013-2016」として発表した。
- ・また、普及を目的としたチャレンジ競技、エンジョイ競技ルールの整備をあわせてすすめた。

V. 関連団体、専門委員会との協調と連携

1. 競技エアロビックに関する研究活動等

(1) 競技力向上に関する研究等

- ・ルーマニアからコーチを招聘し、競技力向上の為の強化合宿を行うとともに、強化トレーニング法の研究をすすめた。

(2) 競技エアロビック普及を目的とした競技体系の研究

- ・競技力向上と底辺拡大を目的に競技内容や種目の整理を行い、新競技体系(公式競技、チャレンジ競技、エンジョイ競技)としてまとめた。

2. 生涯エアロビックに関する研究活動等

(1) 「スローエアロビック」普及の研究と活動

- ・袋井エアロビック協議会と協力して、スローエアロビック音楽の研究と制作をすすめた。
- ・第5回全国ビデオコンクールにスローエアロビック部門を設け、普及啓発を諮った。
- ・神奈川県連と協力して、高齢者の交通安全プログラムとして開発した「トラビック」をスローエアロビックプログラムの一つとして普及啓発を諮った。

(2) 指導者養成講習カリキュラムの見直しと改訂

- ・キッズジュニア及び公認講習会カリキュラムの研究と見直しを行った。

(3) 中学校体育のダンス授業研究と教員向け講習支援

- ・チームダンスエアロビックの指導研究と、群馬県連盟が開催した教員向け講習会の支援を行った。

(4) スマイルレポート 2013 の編集と制作

- ・指導専門委員の年間活動と研究成果をまとめた「スマイルレポート 2013」の編集と制作を行った。

3. 四国エアロビック協議会の設立支援

- ・四国地区の普及と県連設立を目的に、「四国エアロビック協議会(仮称)」設立の支援をすすめた。

4. アダプテッドエアロビックに関する活動支援

- ・神奈川県エアロビック連盟と障害者のエアロビック普及を目的とした「全国アダプテッドエアロビック協議会」設立準備の支援をすすめた。

5. エアロビックフィットネス協議会(AFC)との連携

- ・日本フィットネス協会とアフエージャパン2団体に大幅な組織変更があったため、機関紙「AFC PRESS」を休刊とした。
- ・平成25年2月～3月の期間、第5回全国指導者アンケート調査を実施した。(公表は25年7月予定)

6. 地域ブロック会議の開催

- ・県連活動および広域地域の活性化を目的に、下記の地域ブロック会議を開催した。
(北海道、東北地区、関東地区、西日本地区(2回)、九州地区の6回開催)

7. 和歌山国体デモンストレーションの開催準備

- ・27年度(2015年)開催の和歌山国体に向けて、和歌山県の地域組織づくりとデモンストレーション開催の準備をすすめた。

VI. 広報活動の推進

1. PR活動と報道結果

- ・スズキワールドカップ、スズキジャパンカップを中心にPR活動を行い、下記の報道、露出等があった。(JAF調べ)

(1) スズキワールドカップ2012関連報道結果

- ・新聞・Web掲載件数 83件
- ・テレビ、ラジオ 23件
- ・番組放送 2回(NHKBS1:4/28、5/5)

(2) スズキジャパンカップ2012関連報道結果

- ・新聞・Web掲載件数 455件
- ・テレビ、ラジオ放送件数 4件
- ・番組放送 3回(NHKBS1:12/30、1/6、4/20) ※4/20は25年度実績

2. 広報誌『スマイル』の発行

- ・1998年7月にエアロビック普及を目的に広報誌として創刊。本年も下記の4回発行した。

| | | |
|--------|---------|-----------|
| 56号(春) | 4月1日発行 | 各5,000部発行 |
| 57号(夏) | 7月1日発行 | |
| 58号(秋) | 10月1日発行 | |
| 59号(冬) | 1月1日発行 | |

VII. その他法人の目的を達成するために必要な事業

1. 新公益法人の移行手続き

- ・平成24年度当初から移行に関する手続きを開始し、平成25年4月1日から公益社団法人に移行した。

| | |
|------|------|
| 8月1日 | 申請手続 |
|------|------|

| | |
|--------|----------|
| 10月25日 | 公益認定の答申 |
| 3月21日 | 公益認定書の交付 |
| 4月1日 | 公益社団法人登記 |

2. JAF 表彰の授賞式の開催

・25年度のJAF表彰は該当者がなかったために、授賞式を実施しなかった。

3. 都道府県連盟の設立及び加盟状況

・25年度、都道府県連盟の組織状況は次の通りとなった。

| | | |
|---------|---------|-------------------------------|
| 正加盟 | 31 都道府県 | (会費未納1件) |
| 準加盟 | 1 県 | 鳥取 |
| 設立準備委員会 | 8 府県 | 新潟、京都、奈良、和歌山、愛媛、大分、 鹿児島、沖縄 |
| 改組 | 2 県 | 山口、宮崎 |
| 未組織 | 5 県 | 秋田、徳島、高知、島根、佐賀 |

4. 都道府県体育協会の加盟状況

| | | |
|---------|------|-----------------------------|
| 正加盟 | 8 府県 | 山形、茨城、神奈川、山梨、愛知、大阪 岡山、鳥取 |
| 準加盟 | 2 県 | 群馬、福井、 |
| ※25年度予定 | 2 県 | 静岡、香川 |
| ※レク協等加盟 | 3 県 | 福島、富山、宮崎 |

5. 賛助会員（法人・個人・クラブ）の推進

・25年度、賛助会員数の状況は次の通りとなった。

| | | |
|--------|---------|---|
| 法人賛助会員 | 69 口 | 企業団体 16 口 認定校 10 校 競技登録クラブ 43 クラブ |
| 個人賛助会員 | 1,972 人 | 25年3月現在 |

6. 選手登録の推進

・25年度、選手登録の状況は次の通りとなった。

| | | |
|-------|---------|---------|
| 選手登録数 | 2,200 人 | 25年3月現在 |
|-------|---------|---------|

以上

II. 決算報告

貸借対照表
平成 25年 3月 31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|---------------|---------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 64,922,952 | 65,491,652 | △ 568,700 |
| 受取手形 | 966,000 | 525,000 | 441,000 |
| 売掛金 | 121,800 | 546,000 | △ 424,200 |
| 未収入金 | 5,081,482 | 1,168,440 | 3,913,042 |
| 商品 | 1,360,384 | 1,589,970 | △ 229,586 |
| 貯藏品 | 1,471,633 | 1,704,765 | △ 233,132 |
| 前払費用 | 2,756,739 | 2,645,083 | 111,656 |
| 立替金 | - | 66,585 | △ 66,585 |
| 流動資産合計 | 76,680,990 | 73,737,495 | 2,943,495 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 定期預金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 基本財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 8,517,338 | 6,716,017 | 1,801,321 |
| 大会運営積立資産 | 123,019,895 | 123,022,785 | △ 2,890 |
| 特定資産合計 | 131,537,233 | 129,738,802 | 1,798,431 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物附属設備 | 2 | 2 | - |
| 什器備品 | 318,804 | 1,397,561 | △ 1,078,757 |
| 電話加入権 | 291,200 | 291,200 | - |
| ソフトウェア | 1,710,002 | 1,409,168 | 300,834 |
| ソフトウェア仮勘定 | 5,107,500 | 3,000,000 | 2,107,500 |
| 保証金 | 2,864,420 | 2,667,600 | 196,820 |
| その他固定資産合計 | 10,291,928 | 8,765,531 | 1,526,397 |
| 固定資産合計 | 161,829,161 | 158,504,333 | 3,324,828 |
| 資産合計 | 238,510,151 | 232,241,828 | 6,268,323 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 7,095,443 | 8,288,530 | △ 1,193,087 |
| 未払費用 | 3,566,246 | 3,924,306 | △ 358,060 |
| 前受金 | 3,155,500 | 2,718,000 | 437,500 |
| 預り金 | 2,764,696 | 1,849,450 | 915,246 |
| 未払法人税等 | 1,220,000 | 1,000,000 | 220,000 |
| 未払消費税等 | 1,361,800 | 1,181,600 | 180,200 |
| 流動負債合計 | 19,163,685 | 18,961,886 | 201,799 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 10,008,739 | 7,599,798 | 2,408,941 |
| 固定負債合計 | 10,008,739 | 7,599,798 | 2,408,941 |
| 負債合計 | 29,172,424 | 26,561,684 | 2,610,740 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 寄付金 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産合計 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| (うち基本財産への充当額) | (20,000,000) | (20,000,000) | (-) |
| 2. 一般正味財産 | 189,337,727 | 185,680,144 | 3,657,583 |
| (うち特定資産への充当額) | (123,019,895) | (123,022,785) | (△2,890) |
| 正味財産合計 | 209,337,727 | 205,680,144 | 3,657,583 |
| 負債及び正味財産合計 | 238,510,151 | 232,241,828 | 6,268,323 |

貸借対照表内訳表

平成 25年 3月 31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 収益事業等会計 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計 |
|-------------------|---------------|-----------|--------------|-------------|---------------|
| I 資産の部 | | | | | |
| 1. 流動資産 | | | | | |
| 現金預金 | 22,154,197 | 6,808,474 | 35,960,281 | - | 64,922,952 |
| 受取手形 | 966,000 | - | - | - | 966,000 |
| 売掛金 | - | 121,800 | - | - | 121,800 |
| 未収入金 | 5,081,482 | 573,249 | 5,678,338 | △ 6,251,587 | 5,081,482 |
| 商品 | - | 1,360,384 | - | - | 1,360,384 |
| 貯蔵品 | 1,339,968 | - | 131,665 | - | 1,471,633 |
| 前払費用 | 1,622,870 | - | 1,133,869 | - | 2,756,739 |
| 短期貸付金 | - | - | 2,529,640 | △ 2,529,640 | - |
| 流動資産合計 | 31,164,517 | 8,863,907 | 45,433,793 | △ 8,781,227 | 76,680,990 |
| 2. 固定資産 | | | | | |
| (1) 基本財産 | | | | | |
| 定期預金 | - | - | 20,000,000 | - | 20,000,000 |
| 基本財産合計 | - | - | 20,000,000 | - | 20,000,000 |
| (2) 特定資産 | | | | | |
| 退職給付引当資産 | - | - | 8,517,338 | - | 8,517,338 |
| 大会運営積立資産 | 123,019,895 | - | - | - | 123,019,895 |
| 特定資産合計 | 123,019,895 | - | 8,517,338 | - | 131,537,233 |
| (3) その他固定資産 | | | | | |
| 建物附属設備 | - | - | 2 | - | 2 |
| 什器備品 | 278,011 | - | 40,793 | - | 318,804 |
| 電話加入権 | - | - | 291,200 | - | 291,200 |
| ソフトウェア | 1,710,002 | - | - | - | 1,710,002 |
| ソフトウェア仮勘定 | - | - | 5,107,500 | - | 5,107,500 |
| 保証金 | 196,820 | - | 2,667,600 | - | 2,864,420 |
| その他固定資産合計 | 2,184,833 | - | 8,107,095 | - | 10,291,928 |
| 固定資産合計 | 125,204,728 | - | 36,624,433 | - | 161,829,161 |
| 資産合計 | 156,369,245 | 8,863,907 | 82,058,226 | △ 8,781,227 | 238,510,151 |
| II 負債の部 | | | | | |
| 1. 流動負債 | | | | | |
| 未払金 | 12,478,368 | 664,908 | 203,754 | △ 6,251,587 | 7,095,443 |
| 未払費用 | 873,293 | - | 2,692,953 | - | 3,566,246 |
| 前受金 | 2,255,500 | - | 900,000 | - | 3,155,500 |
| 預り金 | 845,506 | - | 1,919,190 | - | 2,764,696 |
| 短期借入金 | 2,431,257 | 98,383 | - | △ 2,529,640 | - |
| 未払法人税等 | 1,220,000 | - | - | - | 1,220,000 |
| 未払消費税等 | 1,329,117 | 32,683 | - | - | 1,361,800 |
| 流動負債合計 | 21,433,041 | 795,974 | 5,715,897 | △ 8,781,227 | 19,163,685 |
| 2. 固定負債 | | | | | |
| 退職給付引当金 | 8,729,712 | 91,911 | 1,187,116 | - | 10,008,739 |
| 固定負債合計 | 8,729,712 | 91,911 | 1,187,116 | - | 10,008,739 |
| 負債合計 | 30,162,753 | 887,885 | 6,903,013 | △ 8,781,227 | 29,172,424 |
| III 正味財産の部 | | | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | | | |
| 寄付金 | - | - | 20,000,000 | - | 20,000,000 |
| 指定正味財産合計 | - | - | 20,000,000 | - | 20,000,000 |
| (うち基本財産への充当額) | (-) | (-) | (20,000,000) | (-) | (20,000,000) |
| 2 一般正味財産 | 126,206,492 | 7,976,022 | 55,155,213 | - | 189,337,727 |
| (うち特定資産への充当額) | (123,019,895) | (-) | (-) | (-) | (123,019,895) |
| 正味財産合計 | 126,206,492 | 7,976,022 | 75,155,213 | - | 209,337,727 |
| 負債及び正味財産合計 | 156,369,245 | 8,863,907 | 82,058,226 | △ 8,781,227 | 238,510,151 |

正味財産増減計算書

平成24年 4月 1日から平成25年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|-------------|-------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | | | |
| 基本財産受取利息 | 6,016 | 8,000 | △ 1,984 |
| 特定資産運用益 | | | |
| 特定資産受取利息 | 68,299 | 44,428 | 23,871 |
| 受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 3,050,000 | 3,600,000 | △ 550,000 |
| 賛助会員受取会費 | 12,628,600 | 11,694,700 | 933,900 |
| 事業収益 | | | |
| 競技会事業収益 | 137,863,136 | 149,327,778 | △ 11,464,642 |
| 認定登録事業収益 | 10,002,738 | 9,169,919 | 832,819 |
| 講習会等事業収益 | 27,616,066 | 46,195,818 | △ 18,579,752 |
| 商品売上事業収益 | 3,707,808 | 3,595,378 | 112,430 |
| 受取補助金等 | | | |
| 受取民間助成金 | 3,446,232 | 3,631,469 | △ 185,237 |
| 雑収益 | | | |
| 受取利息 | 23,115 | 29,613 | △ 6,498 |
| 雑収益 | 1,914,201 | 1,048,803 | 865,398 |
| 経常収益計 | 200,326,211 | 228,345,906 | △ 28,019,695 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | | | |
| 期首商品棚卸高 | 1,589,970 | 884,384 | 705,586 |
| 商品仕入高 | 1,201,773 | 1,857,811 | △ 656,038 |
| 期末商品棚卸高 | △ 1,548,931 | △ 1,613,592 | 64,661 |
| 給料手当 | 59,055,243 | 56,927,210 | 2,128,033 |
| 退職給付費用 | 2,916,857 | 2,142,937 | 773,920 |
| 法定福利費 | 9,589,130 | 7,879,394 | 1,709,736 |
| 福利厚生費 | 114,384 | 119,034 | △ 4,650 |
| 臨時雇賃金 | 2,406,826 | 12,840,152 | △ 10,433,326 |
| 諸謝金 | 7,465,025 | - | 7,465,025 |
| 外注費 | 54,228,291 | 64,098,810 | △ 9,870,519 |
| 表彰費 | 2,470,000 | 2,020,000 | 450,000 |
| 接待交際費 | 667,104 | 945,168 | △ 278,064 |
| 会議費 | 108,287 | 194,975 | △ 86,688 |
| 旅費交通費 | 11,423,018 | 13,467,806 | △ 2,044,788 |
| 出張手当 | 2,919,015 | 3,235,811 | △ 316,796 |
| 通信運搬費 | 2,651,544 | 2,971,514 | △ 319,970 |
| 減価償却費 | 1,723,241 | 4,369,961 | △ 2,646,720 |
| 消耗品費 | 3,732,825 | 6,021,977 | △ 2,289,152 |
| 修繕費 | 12,989 | - | 12,989 |
| 賃借料 | 7,525,942 | 9,086,339 | △ 1,560,397 |
| 事務所賃借料 | 6,472,918 | 6,525,556 | △ 52,638 |
| 保険料 | 507,933 | 528,386 | △ 20,453 |
| 租税公課 | 605,725 | 635,775 | △ 30,050 |
| 支払寄付金 | 607 | 97,300 | △ 96,693 |
| 委託費 | 1,764,520 | - | 1,764,520 |
| 支払手数料 | 1,411,586 | - | 1,411,586 |
| 雑費 | 70,305 | 8,829,322 | △ 8,759,017 |
| 事業費計 | 181,086,127 | 204,066,030 | △ 22,979,903 |

正味財産増減計算書

平成 24年 4月 1日から平成 25年 3月 31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-----------------|-------------|-------------|--------------|
| 管理費 | | | |
| 給料手当 | 5,981,887 | 5,644,064 | 337,823 |
| 退職給付費用 | 320,084 | 214,058 | 106,026 |
| 法定福利費 | 971,586 | 769,777 | 201,809 |
| 福利厚生費 | 44,217 | 84,630 | △ 40,413 |
| 接待交際費 | 408,562 | 236,258 | 172,304 |
| 会議費 | 55,493 | 50,050 | 5,443 |
| 旅費交通費 | 908,116 | 766,643 | 141,473 |
| 出張手当 | 291,695 | 78,501 | 213,194 |
| 通信運搬費 | 538,421 | 528,069 | 10,352 |
| 減価償却費 | 4,682 | 72,972 | △ 68,290 |
| 消耗品費 | 473,234 | 508,957 | △ 35,723 |
| 修繕費 | 1,316 | - | 1,316 |
| 賃借料 | 166,424 | 180,999 | △ 14,575 |
| 事務所賃借料 | 655,838 | 637,514 | 18,324 |
| 保険料 | 31,253 | 48,908 | △ 17,655 |
| 租税公課 | 40,600 | 73,600 | △ 33,000 |
| 諸会費 | 550,717 | - | 550,717 |
| 支払寄付金 | 10,000 | - | 10,000 |
| 委託費 | 2,169,260 | - | 2,169,260 |
| 支払手数料 | 406,499 | - | 406,499 |
| 雑費 | 105,314 | 3,632,623 | △ 3,527,309 |
| 管理費計 | 14,135,198 | 13,527,623 | 607,575 |
| 経常費用計 | 195,221,325 | 217,593,653 | △ 22,372,328 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 5,104,886 | 10,752,253 | △ 5,647,367 |
| 当期経常増減額 | 5,104,886 | 10,752,253 | △ 5,647,367 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | - | - | - |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 固定資産減耗損 | | | |
| 棚卸商品減耗損 | 376,803 | 99,842 | 276,961 |
| 経常外費用計 | 376,803 | 99,842 | 276,961 |
| 当期経常外増減額 | △ 376,803 | △ 99,842 | △ 276,961 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 4,728,083 | 10,652,411 | △ 5,924,328 |
| 法人税等 | 1,070,500 | 1,000,000 | 70,500 |
| 当期一般正味財産増減額 | 3,657,583 | 9,652,411 | △ 5,994,828 |
| 一般正味財産期首残高 | 185,680,144 | 176,027,733 | 9,652,411 |
| 一般正味財産期末残高 | 189,337,727 | 185,680,144 | 3,657,583 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | - | - | - |
| 指定正味財産期首残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| 指定正味財産期末残高 | 20,000,000 | 20,000,000 | - |
| III 正味財産期末残高 | 209,337,727 | 205,680,144 | 3,657,583 |

正味財産増減計算書内訳表
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | 収益事業等会計 | | | | 法人会計 | 内部取引消去 | 合計 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|--------|------|-------|-------------|--------|-------------|----|
| | 普及・振興事業 | 小計 | 物販事業 | 協議会事業 | 共通 | | | | | 小計 |
| | | | | | 物販事業 | 協議会事業 | | | | |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | | | |
| 事業費 | | | | | | | | | | |
| 期首商品棚卸高 | - | - | 1,589,970 | - | - | - | 1,589,970 | - | 1,589,970 | |
| 商品仕入高 | - | - | 1,201,773 | - | - | - | 1,201,773 | - | 1,201,773 | |
| 期末商品棚卸高 | - | - | △ 1,548,931 | - | - | - | △ 1,548,931 | - | △ 1,548,931 | |
| 給料手当 | 58,180,905 | 58,180,905 | 811,249 | 63,089 | - | - | 874,338 | - | 59,055,243 | |
| 退職給付費用 | 2,903,857 | 2,903,857 | 7,000 | 6,000 | - | - | 13,000 | - | 2,916,857 | |
| 法定福利費 | 9,451,840 | 9,451,840 | 125,483 | 11,807 | - | - | 137,290 | - | 9,589,130 | |
| 福利厚生費 | 112,745 | 112,745 | 1,500 | 139 | - | - | 1,639 | - | 114,384 | |
| 臨時雇賃金 | 2,406,826 | 2,406,826 | - | - | - | - | - | - | 2,406,826 | |
| 諸謝金 | 7,323,120 | 7,323,120 | 141,905 | - | - | - | 141,905 | - | 7,465,025 | |
| 外注費 | 54,228,291 | 54,228,291 | - | - | - | - | - | - | 54,228,291 | |
| 表彰費 | 2,470,000 | 2,470,000 | - | - | - | - | - | - | 2,470,000 | |
| 接待交際費 | 667,104 | 667,104 | - | - | - | - | - | - | 667,104 | |
| 会議費 | 108,287 | 108,287 | - | - | - | - | - | - | 108,287 | |
| 旅費交通費 | 11,388,558 | 11,388,558 | 31,497 | 2,963 | - | - | 34,460 | - | 11,423,018 | |
| 出張手当 | 2,919,015 | 2,919,015 | - | - | - | - | - | - | 2,919,015 | |
| 通信運搬費 | 2,619,324 | 2,619,324 | 31,180 | 1,040 | - | - | 32,220 | - | 2,651,544 | |
| 減価償却費 | 1,722,581 | 1,722,581 | 600 | 60 | - | - | 660 | - | 1,723,241 | |
| 消耗品費 | 3,725,825 | 3,725,825 | 6,540 | 460 | - | - | 7,000 | - | 3,732,825 | |
| 修繕費 | 12,803 | 12,803 | 170 | 16 | - | - | 186 | - | 12,989 | |
| 賃借料 | 7,520,654 | 7,520,654 | 4,835 | 453 | - | - | 5,288 | - | 7,525,942 | |
| 事務所賃借料 | 6,380,247 | 6,380,247 | 84,703 | 7,968 | - | - | 92,671 | - | 6,472,918 | |
| 保険料 | 507,138 | 507,138 | 726 | 69 | - | - | 795 | - | 507,933 | |
| 租税公課 | 591,649 | 591,649 | 14,076 | - | - | - | 14,076 | - | 605,725 | |
| 支払寄付金 | 607 | 607 | - | - | - | - | - | - | 607 | |
| 委託費 | 1,746,255 | 1,746,255 | 16,692 | 1,573 | - | - | 18,265 | - | 1,764,520 | |
| 支払手数料 | 1,405,183 | 1,405,183 | 6,344 | 59 | - | - | 6,403 | - | 1,411,586 | |
| 雑費 | 70,305 | 70,305 | - | - | - | - | - | - | 70,305 | |
| 事業費計 | 178,463,119 | 178,463,119 | 2,527,312 | 95,696 | - | - | 2,623,008 | - | 181,086,127 | |

正味財産増減計算書内訳表
平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | 収益事業等会計 | | | | 法人会計 | 内部取引消去 | 合計 |
|----------------|-------------|-------------|-----------|----------|-------|-----------|-----------|------------|--------|-------------|
| | 普及・振興事業 | 小計 | | 物販事業 | 協議会事業 | 共通 | 小計 | | | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | | | | | | |
| 経常外収益計 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| (2) 経常外費用 | | | | | | | | | | |
| 固定資産減耗損 | | | | | | | | | | |
| 棚卸商品減耗損 | 93,588 | 93,588 | 188,547 | - | - | - | 188,547 | 94,668 | - | 376,803 |
| 経常外費用計 | 93,588 | 93,588 | 188,547 | - | - | - | 188,547 | 94,668 | - | 376,803 |
| 当期経常外増減額 | △ 93,588 | △ 93,588 | △ 188,547 | - | - | - | △ 188,547 | △ 94,668 | - | △ 376,803 |
| 他会計振替額 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 4,229,733 | 4,229,733 | 993,800 | △ 95,696 | 1,245 | 899,349 | 899,349 | △ 400,999 | - | 4,728,083 |
| 法人税等 | 1,070,500 | 1,070,500 | - | - | - | - | - | - | - | 1,070,500 |
| 当期一般正味財産増減額 | 3,159,233 | 3,159,233 | 993,800 | △ 95,696 | 1,245 | 899,349 | 899,349 | △ 400,999 | - | 3,657,583 |
| 一般正味財産期首残高 | 123,047,259 | 123,047,259 | 7,076,673 | - | - | 7,076,673 | 7,076,673 | 55,556,212 | - | 185,680,144 |
| 一般正味財産期末残高 | 126,206,492 | 126,206,492 | 8,070,473 | △ 95,696 | 1,245 | 7,976,022 | 7,976,022 | 55,155,213 | - | 189,337,727 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | | | | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 指定正味財産期首残高 | - | - | - | - | - | - | - | 20,000,000 | - | 20,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | - | - | - | - | - | - | - | 20,000,000 | - | 20,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 126,206,492 | 126,206,492 | 8,070,473 | △ 95,696 | 1,245 | 7,976,022 | 7,976,022 | 75,155,213 | - | 209,337,727 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。

②その他の有価証券

・時価のあるもの・・・期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

・時価のないもの・・・移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法に基づく原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

無形固定資産・・・定額法

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、当会計年度より、平成24年4月1日以後に、取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更している。

なお、これによる当会計年度の損益への影響はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|----------|-------------|------------|------------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 20,000,000 | - | - | 20,000,000 |
| 小 計 | 20,000,000 | - | - | 20,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 6,716,017 | 1,801,321 | - | 8,517,338 |
| 大会運営積立資産 | 123,022,785 | 68,069,186 | 68,072,076 | 123,019,895 |
| 小 計 | 129,738,802 | 69,870,507 | 68,072,076 | 131,537,233 |
| 合 計 | 149,738,802 | 69,870,507 | 68,072,076 | 151,537,233 |

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産 からの充当額) | (うち一般正味財産 からの充当額) | (うち負債に対応 する金額) |
|----------|-------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 20,000,000 | (20,000,000) | (-) | (-) |
| 小 計 | 20,000,000 | (20,000,000) | (-) | (-) |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 8,517,338 | (-) | (-) | (8,517,338) |
| 大会運営積立資産 | 123,019,895 | (-) | (123,019,895) | (-) |
| 小 計 | 131,537,233 | (-) | (123,019,895) | (8,517,338) |
| 合 計 | 151,537,233 | (20,000,000) | (123,019,895) | (8,517,338) |

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|--------|------------|------------|-----------|
| 建物附属設備 | 448,532 | 448,530 | 2 |
| 什器備品 | 15,742,800 | 15,423,996 | 318,804 |
| ソフトウェア | 6,858,600 | 5,148,598 | 1,710,002 |
| 合 計 | 23,049,932 | 21,021,124 | 2,028,808 |

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

| 種類及び銘柄 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|-----------|------------|------------|--------|
| 国債 | | | |
| 第305回利付国債 | 20,004,284 | 20,005,400 | 1,116 |
| 第314回利付国債 | 30,015,611 | 30,012,600 | -3,011 |
| 合 計 | 50,019,895 | 50,018,000 | -1,895 |

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上 の記載区分 |
|--------------------------------|------------------------|-------|-----------|-----------|-------|-----------------|
| 助成金 | | | | | | |
| スポーツ振興基金 助成金 | 独立行政法人 日本スポーツ振興センター | - | 2,119,000 | 2,119,000 | - | - |
| スポーツ学等研究 助成金 | 公益財団法人 ミスノスポーツ振興財団 | - | 1,000,000 | 1,000,000 | - | - |
| 委託金 | | | | | | |
| 公認スポーツ指導者 講師競技別全国 研修会委託金 | 公益財団法人 日本体育協会 | - | 327,232 | 327,232 | - | - |
| 合 計 | | - | 3,446,232 | 3,446,232 | - | - |

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載している。

2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|-----------|-----------|-------|-----|------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 7,599,798 | 2,408,941 | - | - | 10,008,739 |

財産目録
平成 25年 3月 31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------------------|--|---|--|
| (流動資産) | | | |
| 現金預金 | 現金手許有高 普通預金 みずほ銀行祐天寺支店 三菱東京UFJ銀行大井支店 ゆうちょ銀行品川支店 | 運転資金として 同上 同上 同上 | 436,973 63,743,825 265,939 476,215 |
| | | (現金預金計) | 64,922,952 |
| 受取手形 売掛金 未収入金 | (株)ウェザーコーポレーション 指導教本他 (公財)日本体育協会 (独行)日本スポーツ振興センター (株)ウェザーコーポレーション | 公益目的事業協賛金として 収益事業・物販売掛金として 公益目的事業・資格登録料の未収分として 公益目的事業・助成金未収分として 公益目的事業・協賛金他未収分として | 966,000 121,800 2,253,982 2,119,000 708,500 |
| | | (未収金計) | 5,081,482 |
| 商品 | 採点規則2013-2016@978.50*325枚 新エアロビック技能検定が'@737.10*161枚 指導教本@1,195.95*49冊 指導教本@814.80*300冊 Jr技術教程DVD@553.35*164枚 Jr技術教程が'@460.25*167冊 キッズJr指導が'@644*7冊 キッズJr指導が'@399*500冊 キッズJr指導DVD@300*35枚 キッズJr指導DVD@294*300枚 スポーツエアロビック規程曲集@770*65枚 コーチ教本@1,607.30*27冊 JAFエンブレム@3,500*8枚 技能検定会CD@2,205*6枚 スキルアップDVD@1,076*10枚 メタリック対策DVD@2,450*2枚 | 収益事業・販売用商品として 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 | 318,013 118,673 58,602 244,440 90,749 76,862 4,508 199,500 10,500 88,200 50,050 43,397 28,000 13,230 10,760 4,900 |
| | | (商品計) | 1,360,384 |
| 貯蔵品 | 技能検定会バッチ他 | 公益目的事業・技能検定会認定登録バッチとして | 1,471,633 |
| 前払費用 | 大田区総合体育館他 | 公益目的事業・大会会場費他前払分として | 2,756,739 |
| 流動資産合計 | | | 76,680,990 |
| (固定資産) | | | |
| 基本財産 | 定期預金 | 三菱東京UFJ銀行大井支店 | 運営管理目的保有財産であり、運用益を法人会計・運営管理業務の財源に充当 20,000,000 |
| 特定資産 | 退職給付引当資産 | 定期積金 みずほ銀行祐天寺支店 定期預金 三菱東京UFJ銀行大井支店 | 役員退職給付用財産であり、運用益を法人会計・運営管理業務の財源に充当 8,517,338 7,317,338 1,200,000 |
| | 大会運営積立資産 | 定期預金 みずほ銀行祐天寺支店 三菱東京UFJ銀行大井支店 投資有価証券 第305回利付国債 第314回利付国債 | 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業会計の運営管理業務の財源に充当 123,019,895 35,000,000 38,000,000 20,004,284 30,015,611 |
| | | (特定資産計) | 131,537,233 |

財 産 目 録
平成 25 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|-----------------------|-----------------|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| その他 固定資産 | 建物付属設備 | 日本エアロビック連盟内 可動間仕切り | 運営管理目的の財源として保有する財産 | 2 |
| | 什器備品 | 日本エアロビック連盟内他 エアロビックフロア他 | うち公益目的保有財産87.2% | 318,804 |
| | | | うち運営管理目的の財源として保有する財産 12.8% | 278,011 40,793 |
| | 電話加入権 | 日本エアロビック連盟内 事務局電話機加入権5回線分 | 運営管理目的の財源として保有する財産 | 291,200 |
| | ソフトウェア | 日本エアロビック連盟内 集計システム他 | 公益目的保有財産 | 1,710,002 |
| | ソフトウェア仮勘定 | 日本エアロビック連盟内 | 公益目的・運営管理目的の財源として保有する財産 | 5,107,500 |
| | 保証金 | 市川庄次(事務所保証金)他 | 運営管理目的の財源として保有する財産 (その他固定資産計) | 2,864,420 10,291,928 |
| 固定資産合計 | | | | 161,829,161 |
| 資産合計 | | | | 238,510,151 |
| (流動負債) | 未払金 | (株)協同宣伝他 日本印刷(株)他 山口北州印刷(株)他 | 公益目的事業に関する未払分として | 6,359,549 |
| | | | 収益事業に関する未払分として | 532,140 |
| | | | 運営管理業務に関する未払分として (未払金計) | 203,754 7,095,443 |
| | 未払費用 | 講師他 品川年金事務所他 | 公益目的事業に関する未払分として | 873,293 |
| | | | 運営管理業務に関する未払分として (未払費用計) | 2,692,953 3,566,246 |
| | 前受金 | (株)おとやトレーディング他 | 公益目的事業・協賛金他前受分として | 3,155,500 |
| | 預り金 | 品川年金事務所他 品川税務署 | 社会保険料他預り分として | 2,452,750 |
| 源泉徴収税預り分として (預り金計) | | | 311,946 2,764,696 | |
| 未払法人税等 未払消費税 | 東京国税局他 品川税務署 | 未払法人税として 未払消費税として | 1,220,000 1,361,800 | |
| 流動負債合計 | | | | 19,163,685 |
| (固定負債) | 退職給付引当金 | 職員分 | 公益目的事業及び運営管理業務に従事する 役職員の退職給付金として | 10,008,739 |
| 固定負債合計 | | | | 10,008,739 |
| 負債合計 | | | | 29,172,424 |
| 正味財産 | | | | 209,337,727 |

Ⅲ. 監査報告書

監査報告書

公益社団法人 日本エアロビック連盟

会長 筒井 昭 殿

平成25年5月25日

公益社団法人 日本エアロビック連盟

監事 中村 邦夫



公益社団法人 日本エアロビック連盟

監事 高山 昌茂



私たちは、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について、検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。